

は た ら く ・ く ら す ・ い き る

モ ノ づ く り の 現 場 で の 、
派 遣 と い う 働 き 方 白 書

ライフスタイル実態調査報告

第1部	ライフスタイル実態調査の実施にあたって	03
第2部	調査結果と考察	07
	第1章 「現代の健康」からみる派遣という働き方の実態	08
	ストレスにかかわる要因	12
	仕事のパフォーマンスにかかわる要因	13
	ワーク・エンゲイジメントにかかわる要因	14
	ワーク・エンゲイジメントと関連するロールモデルのあり方	15
	第2章 「人生100年時代」におけるワーク&ライフインタビュー	17
	第3章 ライフスタイル実態調査からみえてきたもの	28
第3部	「はたらく力で、イキイキをつくる。」キャリアプラットフォームの創造	31
資料	ライフスタイル実態調査アンケート結果	37

「派遣」という働き方

現在、日本人の平均寿命は男女ともに80歳を超え、「人生100年時代」といわれるようになりました。2007年以降に生まれた人の半数以上は100歳まで生きるとの試算もあり、働き方も、生き方さえも大きく変わりつつある時代です。このように長寿化が進む一方で、出生率は低下し、将来的な労働人口の不足も深刻化しつつあります。

正規雇用／非正規雇用を問わず、すべての働く人が、多様な働き方から自分自身にあった働き方を選ぶこと、そして長期的な人生設計のなかで、長く元気に働ける環境を獲得することは、ますます重要になっています。

UTグループ株式会社(代表取締役社長兼CEO：若山陽一、本社：東京・品川区東五反田)は、日本の強さは「モノづくり」とそれを支える「人」にあると考え、1995年の創業以来20年以上にわたり、製造分野の人材派遣・請負事業を行ってきました。

「派遣」という働き方は、派遣元企業に所属しながらも、働く現場は派遣先企業であるという、特有の二重構造を持っています。

派遣社員は、働く現場では非正規雇用労働者とみなされ、正規雇用労働者に整備される、配属・人事異動、評価、昇進・昇格などの「人事機能」を始め、教育・研修、キャリア支援などの「育成機能」、社会保険料の事業主負担、生活や健康への各種支援などの「福利厚生機能」といったサポートを受けにくいことが、正規雇用／非正規雇用の格差として、これまでの課題となってきました。

人材派遣サービスに何ができるか

UTグループでは、その創業の当初から「はたらく人」の立場に立ち、人材派遣業界としては異例の原則的な無期雇用(正社員雇用)を始めとして、キャリアアップのための教育のシステム、能力や技能に応じた昇給制度、社会保険への加入など、革新的なしくみを次々と実現してきました。

こうした施策は、主に「はたらく時間(就労時間)」をサポートすることに注力するものでした。「はたらく時間」は、派遣先企業の環境に多く依存し、時間や場所など、労働の環境の制約を受けるために、派遣先企業との緊密な協力関係が必要となります。

一方、派遣元企業として私たちに何ができるのかを考えたとき、これまであまり顧みられてこなかった「くらしの時間(就労時間外)」を積極的にサポートすることで、イキイキと、より継続的に働ける環境につなげるという、新しい課題がみえてきました。

しかし派遣で働く人たちが、実際に「くらしの時間」をどのように過ごしているかの実態は、これまで十分には把握されていませんでした。

ライフスタイル全般をみる実態調査

派遣で働く人を対象とした調査としては、厚生労働省による2014年の「雇用の構造に関する実態調査(就業形態の多様化に関する総合実態調査)」や、2017年の「派遣労働者実態調査」などが行われています。しかしその多くはオフィスワーカーを含む調査であり、モノづくりの現場で働く派遣労働者に特化した実態調査はなされていません。また、これらの調査は労働のあり方や生産性を問う「はたらく時間」の調査が主流で、「くらしの時間」を対象とする調査は行われていませんでした。

製造業を中心に、日本のモノづくりの現場で派遣として働く人の実態を把握するためには、その就労時間から就労時間外にわたる、ライフスタイル全般を視野に入れた、総合的な調査が必要とされます。

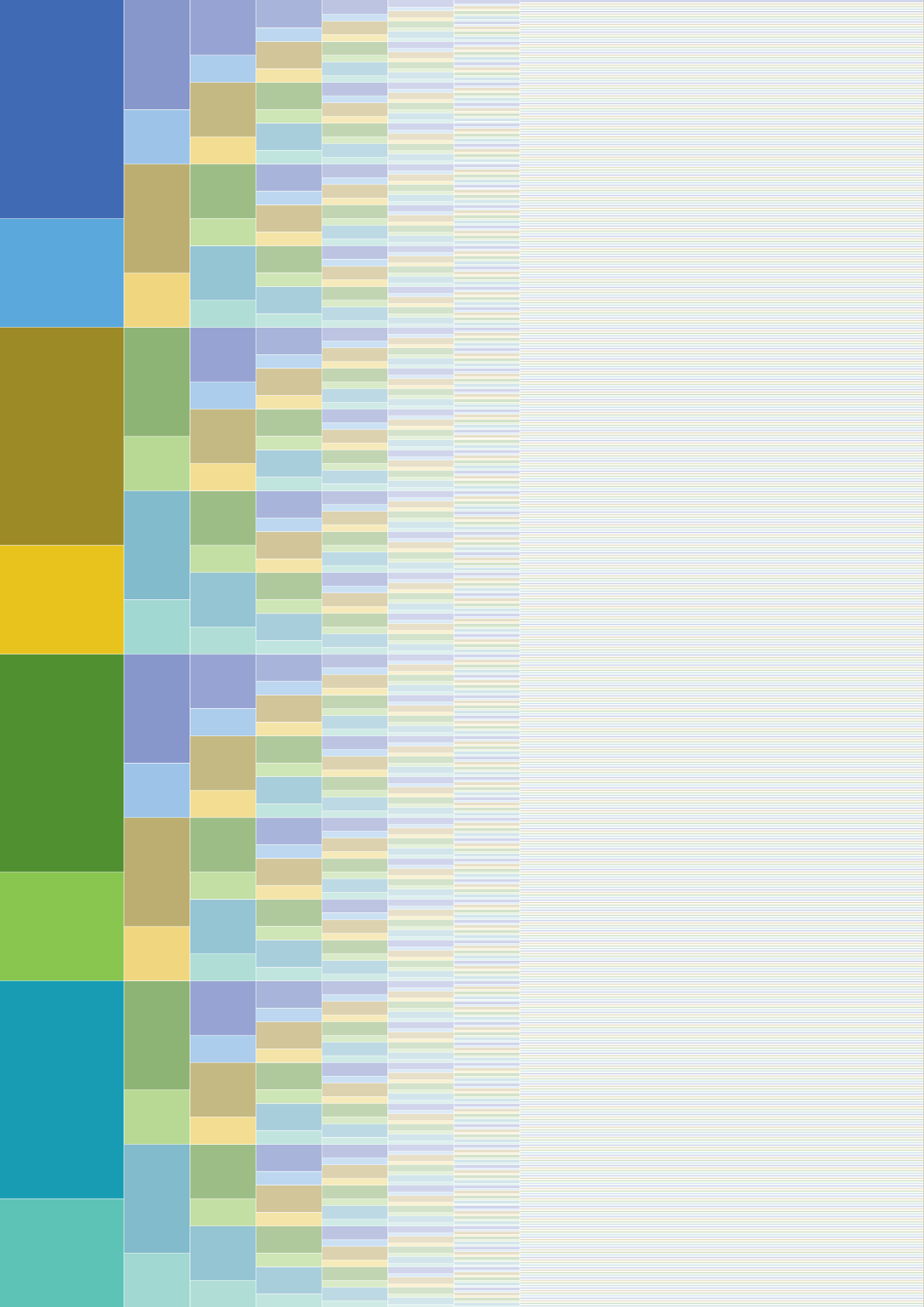
「くらしの時間」には、食事や睡眠、趣味や嗜好、休日の過ごし方など、相互に関連しつつさまざまな展開する複数の要件が混在しています。UTグループは、日々のくらしの「健康」をキーワードとして、企業や組織の環境形成や生産性向上に豊富な知見を持つプロフェッショナル集団、株式会社Campus for Hと出会うことで、彼らとの協働プロジェクトとして、このライフスタイル実態調査を行うこととしました。

UTグループとCampus for Hのコラボレーション

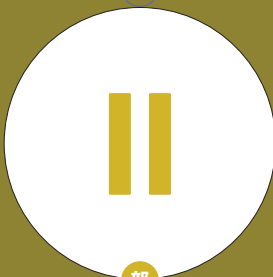
予防医学の研究者として、「人がより良く生きる」をテーマとする石川善樹(博士・医学)ほか2名によって2014年に設立された株式会社Campus for H(代表取締役兼CEO：米倉章夫、本社：東京・品川区西五反田)は、「企業、組織の健康づくり・生産性向上に関する調査・研究」と、それに関連する「サービスの開発・販売とコンサルティング」を行う会社です。ここでは、公衆衛生や予防医学、心理学、数理解析などの多様な知識や経験を持つ専門家とビジネスの専門家がひとつのチームとなり、まったく新しい研究開発と実践の場が創造されています。

今回の調査・研究では、製造業派遣を中心として、日本のモノづくりの現場における働き方のさらなる「改革」を模索するUTグループと、最新の科学的知見から企業や組織の健康づくり、生産性の向上を探ろうとするCampus for Hの問題意識が重なりあい、その相乗効果を期待した、両社のコラボレーションが実現しました。

この調査・研究が、日本の「派遣」という働き方、ひいては「日本の働き方」全体を考えるきっかけになることを願います。



第



部

調査結果と考察

「現代の健康」からみる派遣という働き方の実態

調査の目的と意義

今、日本の企業では、働き方の改革のためのさまざまな取り組みが進められています。なかでも、注目が高まっているのが「健康経営」です。

健康経営とは、従業員の健康を維持、増進することで、企業の成長につなげる経営戦略のひとつで、1992年、アメリカの経営学・心理学者のロバート・H・ローゼンが提唱したのが始まりとされています。アメリカでは、従業員の健康への投資に対し利益が上回る研究データもあって、大きな広がりをみせました。

健康経営では、従業員の健康にかかわるコストとして、医療費、薬剤費などの直接の健康管理費のほか、フィジカル、メンタル面で不調を抱えながら就労したときのパフォーマンスの低下も損失ととらえます。したがって、いかにひとりひとりがイキイキと働き、それぞれの能力を発揮できるかが、健康経営のテーマとなります。

個人の価値観やライフスタイルが多様化し、日本人の平均寿命が近い将来90歳を超えると、いう新たな課題が加わった今、働き方は、効率化や合理化で短期的な成果を求めるだけでなく、キャリアを通じた質に注目する必要があります。

これまでの働き方の改革では、「働きやすい職場づくり」のために、仕事内での改善が進められてきました。

しかし近年は、仕事外の過ごし方にも、焦点があてられるようになりました。これはアスリートの研究から、「ONタイム＝試合中」のパフォーマンス向上のために「OFFタイム＝休憩時間」でのリカバリーの重要性を明らかにした、スポーツ科学の考え方が背景にあります。

仕事でも「OFFタイム＝仕事外」でのリカバリーが十分でないと、「ONタイム＝仕事」の能率が低下すると考えられています。ワークライフバランスということばはすっかり定着しましたが、複雑に関連しあうONとOFFの両面をケアする重要性が、あらためて指摘されています。

また、これからの取り組みには、「働きがいのある職場づくり」という新たな視点が求められます。このため、ワーク・エンゲイジメントという考え方に関心が集まっています。エンゲイジメントを直訳すると、契約や絆といった意味になり、ワーク・エンゲイジメントは、仕事に誇りや熱意を持ち、仕事から活力を得る状態を表します。

人が活動するとき、意欲を見出し前向きに取り組む状態は何によって作りだされるか、と

いった研究は、世界中で盛んに行われています。こうした心のポジティブな状態に注目する領域はポジティブ心理学と呼ばれ、ワーク・エンゲイジメントもその研究対象のひとつです。

働くうえでエンゲイジメントのレベルを上げるには、仕事や生活でのネガティブな負担を軽減させるだけでなく、ポジティブな資源を向上させることがより有効だと考えられています。

日本では2010年ころから、健康経営を取り入れる企業が増えていきました。この動きに、経済産業省も、「健康経営優良法人認定制度」での顕彰や、東京証券取引所と共同で「健康経営銘柄」を選定、発表するなど後押しし、成果を上げつつあります。

しかし、非正規雇用労働者、なかでも製造業では地方都市の工場に派遣されることが多く、そのライフスタイルの把握も十分とはいえません。そこで今回、初の試みとして、モノづくりの現場で派遣として働く人たちの、生活習慣等を含めた働き方の実態調査を行いました。あわせて、ONタイムとOFFタイムの両面から、イキイキとした働き方に関連すると思われるネガティブ、ポジティブな要因を抽出、分析することで、次の施策のための検討につなげます。

調査・分析の概要

調査は、派遣という形態で働くUTグループの社員11355名を対象に、webアンケートへの参加を募集して実施しました。

アンケートの設問は、信頼性や妥当性、先行調査との比較可能性を考慮して、選択しています。また、回答者の負担を軽くするために、スマートフォンなどからもwebで簡単に入力できるものとした。

内容は、実態の把握を目的としているため、労働状況から、睡眠や食事といった生活習慣、家族構成、収入や貯蓄まで多岐にわたります。そのなかには、「何歳まで生きたいか」「何歳まで生きると思うか」という、これまであまり調査されたことのない独自の設問があります。モノづくりの現場で派遣として働く人たちが、どのようなライフスタイルでどのようなライフプランを描いているのかを、全体として把握する調査設計となっています。

アンケート結果は、重複や誤回答を除くデータクリーニングをしたあと、働き方と健康をみる領域でベーシックな研究指標となる、「ストレス」「仕事のパフォーマンス」「ワーク・エンゲイジメント」に関連があると思われる要因の抽出と、その影響の度合いをみるための分析を行っています。

さらに今回は、行動や考え方の模範となるロールモデルについて、より細かく調査、分析を行っています。めざしたいと思えるような身近なロールモデルの存在は、日々の仕事や長期的なキャリアに影響すると考えられる重要な要因のひとつです。派遣という形態では、派遣元、派

遣先に、それぞれの上司、先輩、同僚がいます。そこで、ロールモデルの存在とふるまいについて、派遣元、派遣先を分けて、調査、分析を行いました。

調査実施概要

- 実施期間——2017年8月25日～2017年9月11日
- 募集方法——UTグループ社員に向けたアプリでの募集(対象者数11355名)
- 実施方法——web調査
 - アクセス数7041件(重複アクセス含む)
 - 回答数1891件(解析対象数1739件)
- 主な分析方法——重回帰分析

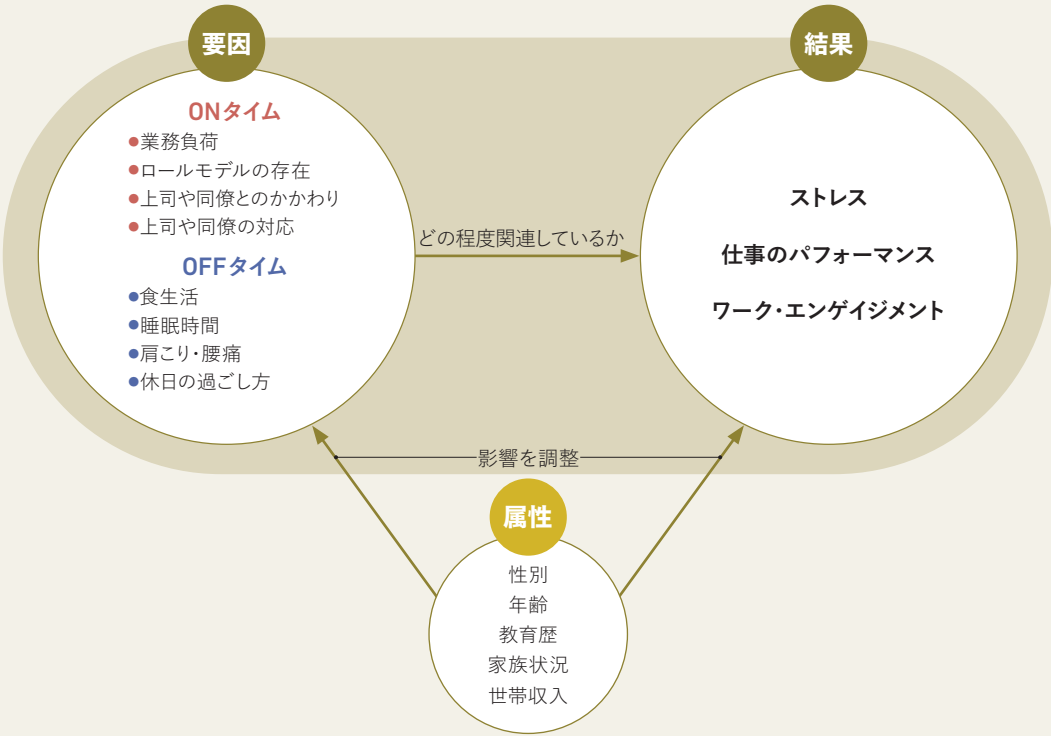
分析の論考

分析の方法について

アンケートから得られたたくさんの情報から、ストレス、仕事のパフォーマンス、ワーク・エンゲイジメントを検討したい「結果」としたとき、どのような「要因」が関連しているか、関連性を明らかにするため、多変量解析を行いました。

「要因」は、仮説に基づきながら、分析に支障が出ないように傾向の重複を避けて、ONタイムとOFFタイムそれぞれから関連があると思われる項目を選択しました。

この「要因」と「結果」の関連を検討するために、年齢や学歴など分析に影響を与えると考えられるものは、統計的に調整をしました。



バブル・チャートの見方 (p.12 ～ p.15)

「結果」に対する「要因」の関連を、バブル(円)によるチャートで表しました。

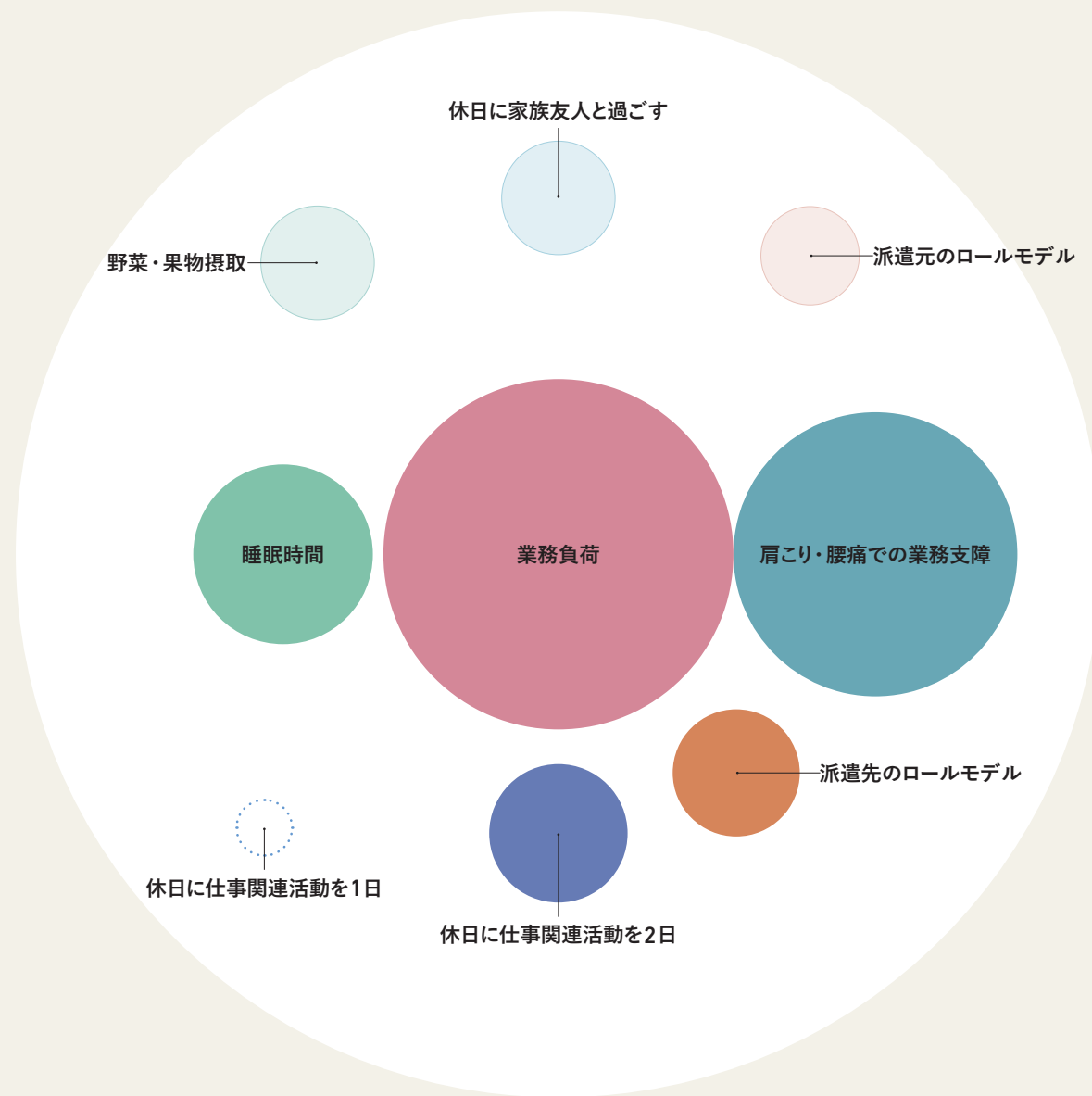
ONタイム、OFFタイムから抽出した「要因」は、それぞれ項目ごとにバブルを色分けしています。ONタイムは暖色系、OFFタイムは寒色系です。

バブルの大きさは、分析から得た関連性の数値に基づいています(負の関連を示すものは枠線のみ)。より関連が大きいと思われる「要因」のバブルは中央に配置しています。ただしこの数値には揺らぎがあるため、その有効性は色の濃淡で表しています。より関連が大きくそれが確からしいほど、大きく色の濃い円になります。

ストレスにかかわる要因

予防医学では、ストレスは軽視できません。

適度なストレスは、能率を高めるなどの良い面もありますが、過度のストレスや、長期的なストレスは、精神状態だけでなく、身体的な健康を損ねることにもつながる、重要な問題です。



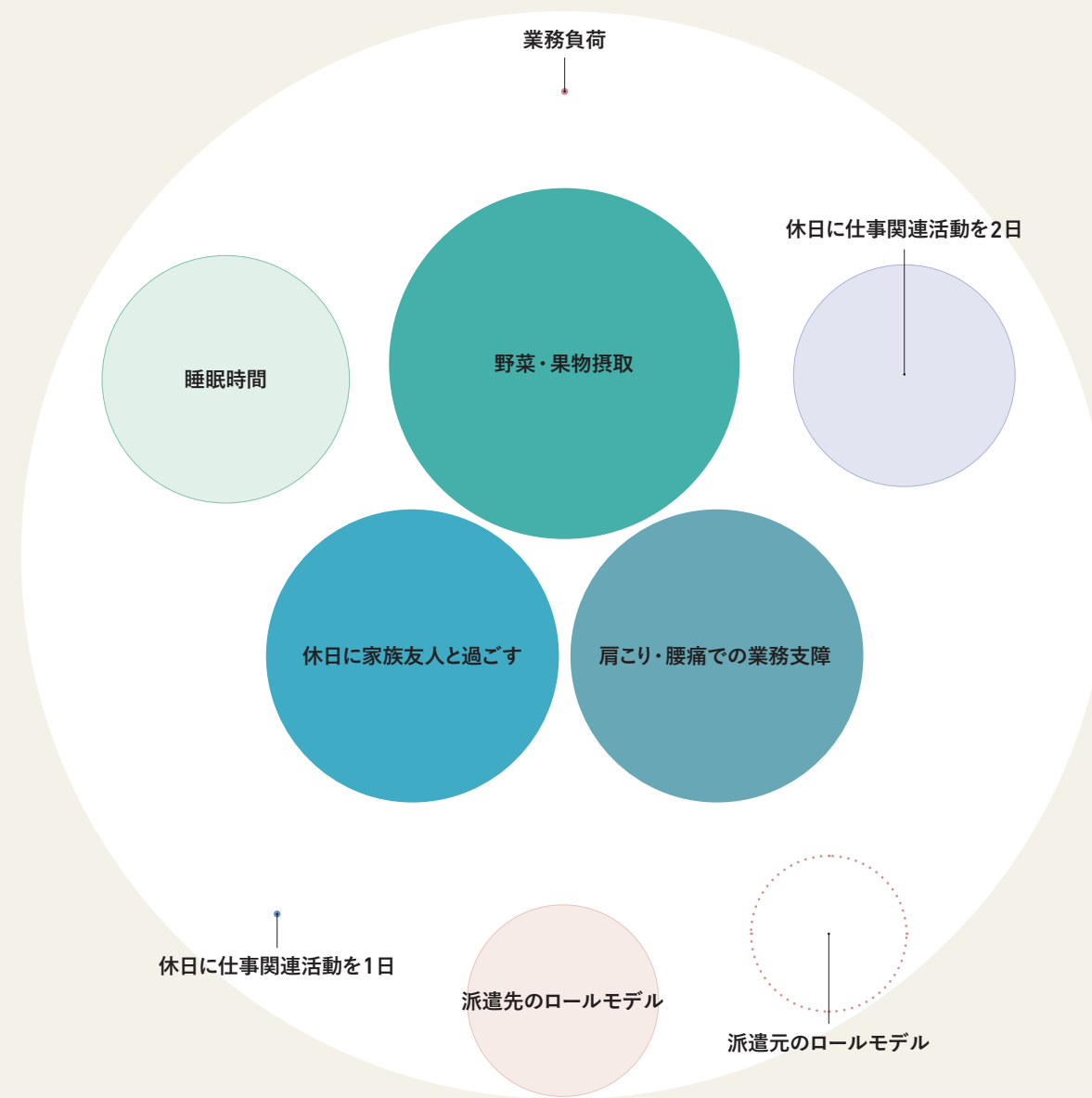
ONタイムの要因とストレスとの関連として、業務の負荷が大きいことがみてとれますが、肩こり・腰痛を抱えていることや、睡眠を十分にとれないといった、生活習慣の問題とストレスの高さとの関連も見過ごせません。とくに、肩こり・腰痛が業務の支障になると、ストレスの大きな要因につながるといえます。

休日の過ごし方としては、自己研鑽は、後述するワーク・エンゲイジメントと良い関連もみられますが、2日連続する休日の2日とも仕事に関連する学びや活動を行うことは、ストレスにつながる可能性もみられます。

仕事のパフォーマンスにかかわる要因

仕事のできばえ、パフォーマンスをみる指標です。

WHOが公開している「健康と労働パフォーマンスに関する質問紙」では、欠勤までには至らなくてもパフォーマンスが低下しているような、表面的にはみえにくい状態も評価します。



ONタイムの要因よりもOFFタイムの要因の方が、関連がより大きいという結果が出ています。肩こり・腰痛が業務の負担になるとみられ、欠勤するほどではない肩こり・腰痛でも、軽減することが、パフォーマンスの維持につながるといえます。

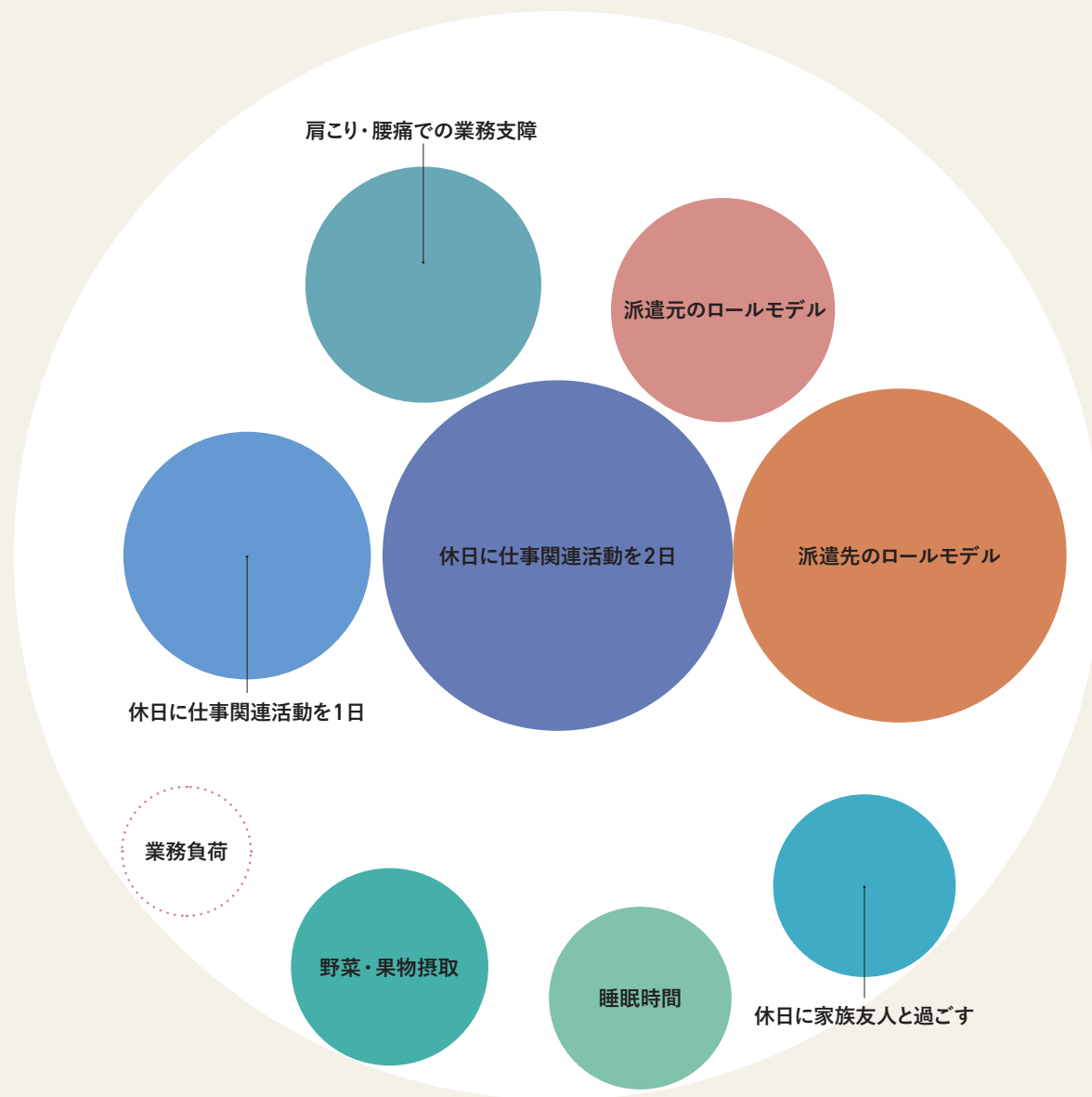
また、ストレスの項目では確認できなかった食生活との関連が、仕事のパフォーマンスには関連することがわかりました。

毎日の食事に野菜や果物を取り入れ、休日は家族・友人と過ごす、というようなライフスタイルを過ごしていることが、仕事のパフォーマンスに良い関連があるとみられます。

ワーク・エンゲイジメントにかかわる要因

ワーク・エンゲイジメントは、仕事に対する活力や、熱意、没頭している状態を表します。

エンゲイジメントの高さは、仕事のパフォーマンスの高さに関連し、ストレスの低さとも関連するという報告があります。



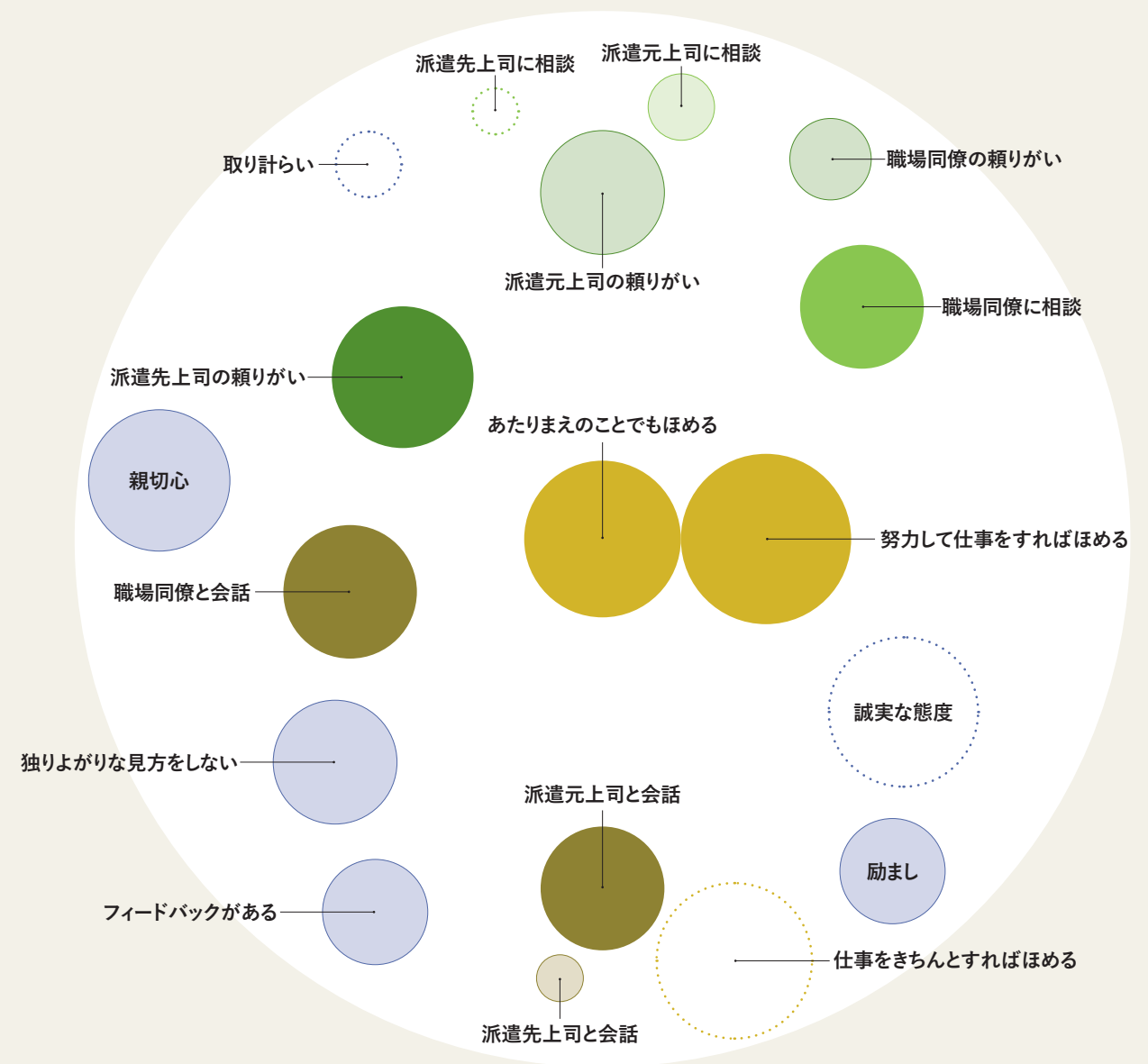
休日は、仕事に関係する学びや活動にあてることが、ワーク・エンゲイジメントに関連するという結果が得られました。一方、ストレスの結果で述べたように、連続する休日の2日とも仕事関係の活動をするとストレスを高める可能性も考えられるため、一般的には自己研鑽は休日の1日がちょうど良いのではないかと考えられます。

また、ワーク・エンゲイジメントには、ロールモデルの存在との関連が大きいことがわかります。とくに、派遣先の現場にロールモデルが存在することが、今回の調査対象者にとって重要であるとみてとれます。

ワーク・エンゲイジメントと関連するロールモデルのあり方

ワーク・エンゲイジメントでは、ロールモデルの存在との関連性がより大きいという分析結果となりました。

ここでは、派遣元、派遣先別のロールモデルのふるまいについて、より詳細に分析を行います。



派遣元、派遣先それぞれの同僚、上司との関係をみると、派遣先の同僚と派遣元の上司とは会話が大切とされ、派遣先の上司には頼りがいが求められるようです。相談事は、派遣先、派遣元にかかわらず、上司ではなく職場の同僚が大切であるという関連がうかがえます。

また、ロールモデルに求められるふるまいに「ほめる」ということがあります。今回の調査では、どのようなことでどのようにほめると良いかについて、「あたりまえのことでもほめる」こととの関連がみられました。仕事の成果が出たときや、努力がみられたときにだけほめるよりも、日常的に些細なこともほめることが、今回の調査対象者ではエンゲイジメントを高める可能性がみられました。

分析結果のまとめ

今回の調査、分析から、ONタイムの要因として、ロールモデルの存在がワーク・エンゲイジメントと関連するという結果が得られました。とくに、派遣先の現場でのロールモデルが重要と考えられます。また、ロールモデルに求められるふるまいとしては、日常的にほめることが有効であるといえます。

一方、OFFタイムから抽出した要因は、ストレス、仕事のパフォーマンス、ワーク・エンゲイジメントの3つともに関連がみられたことから、OFFタイムの過ごし方の重要性が指摘できます。

2日連続する休日では、1日を自己研鑽にあてると良いという分析結果となりました。これは、かつて「経営の神様」と称された松下幸之助が提唱した「1日休養、1日教養」とも合致する興味深い結果です。また、休日は家族や友人と過ごすこと、野菜や果物を毎日摂ることといったライフスタイルと、仕事のパフォーマンスとの関連がみられました。ヘルシーで社会的なライフスタイルを支えることが、仕事のパフォーマンスにもつながる可能性があるといえます。

今回の調査、分析では、ライフスタイルの支援、職場のサポートといったさまざまな具体策が考えられるなか、関連度をもとに優先順位を求め、複数の課題を同時に解決する糸口を探りました。肩こり・腰痛の解消、健康的な生活習慣といったごく基本的なことが、ONタイム・OFFタイムの両面を検討した観点からもあらためて重要であることが、データとして裏づけされる成果がありました。

ただし分析では共通項を探するため、個別性の高いものは抜け落ちる可能性があります。たとえば、今回のような夜勤者やシフトタイムワーカーを含むような対象者では、睡眠などの事柄は個別性が高く、より綿密な対応が必要と考えられます。

2

章

「人生100年時代」におけるワーク&ライフインタビュー

インタビュー調査の背景

アンケート調査の結果、今回の対象者は、当初想定された以上に自己の寿命を短く見積もっている人が多いことが特徴的でした。

現在の日本人の平均寿命は、84.06歳(男性：80.98歳、女性：87.14歳)と、過去最高を記録しています(厚生労働省「平成28年簡易生命表」)。これに対しアンケート調査では、「Q54. 何歳まで生きたいか」という問いへの回答が、男女の平均値は76歳、さらに「Q55. 何歳まで生きると思うか」には73歳と、現在の平均寿命を大きく下回る結果が得られています。

「人生100年時代」といわれ、2007年生まれの半数は100歳以上まで生きると予測される今、なぜ今回の対象者が想定する自己の寿命は短いのか、その理由を、インタビューによって明らかにしようと試みました。

あわせて、アンケート調査では十分にみえてこない、ライフプランと給与や貯蓄などのマネープランの関連を聞き取りました。

アンケートなどの統計的な調査は、共通項をみることに大きな利点がありますが、個別な違いをつぶさにみることはできません。インタビューでは個別性をみるとともに、その回答が、回答者にとってどのような意味を持つのかを読み取ることに留意しています。

実施概要

実施期間——2018年3月31日、4月1日

実施場所——UTグループ本社ビル(東京・品川区東五反田)8階

選抜方法——アンケート調査に回答したUTグループの社員を対象とし、「Q54. 何歳まで生きたいか」への回答から、平均寿命程度(男性81歳、女性87歳)、回答者の平均(男女とも70歳前後)、極端に短い(30歳代)、のそれぞれ回答者を、20代から50代の各世代、男女を含むように選抜

実施方法——各1時間程度の個別インタビュー

結果概要

インタビューではすべての対象者に、過去・未来にわたる自身のライフプランとマネープランを、用意したボードに描画していただきました。平均寿命程度の回答者は、将来のプランについても比較的すなりと、起伏のあるライフプランを描きました。一方、寿命を短く考える人ほど、将来のライフプランについては描く際に躊躇(ちゅうちょ)が大きく、起伏が単調なライフプランになりがちで、将来を想像することが難しいようすがみられました。

また、寿命を短く考えた人は、長く生きることを身体機能の低下や、周囲に迷惑をかけることだと考えている傾向がみられました。その一方で、体が許す限り長く働きたいとも考えており、寿命を短く考えた人は「生きる期間=しっかり働ける期間」と考えていることもわかってきました。

働き方について男女別にみると、女性は「人間関係」を重視する傾向がみられ、新たな人と出会うことができる環境として、派遣という働き方が機能している点があげられました。男性は「将来性」を求める声も多く、多様なキャリアパスに開かれたUTグループの可能性を、高く評価する声も聞かれました。

インタビュー対象者データの凡例

(左から)年齢|性別|婚姻状況|学歴|現在の住まいと家族|勤務形態|転職回数|年収|貯蓄額|資産運用

31歳|女性|未婚|高卒|社宅住まい|勤務形態:遅番・土日休|転職3回|年収:200万円未満|貯蓄額:10万円未満|資産運用なし

35歳

35歳くらいまで生きられれば、いいかな。

35歳ってすぐですけど、でも、今、すごい楽しいので……。

OFFタイムは何をしていますか？

昔から、ジャニーズ系のアイドルにハマっています。昨日はアイドルつながりで知りあったおじさんとライブに行ってきました。私は希望して遅番にしてもらって、昼過ぎから夜11時までの勤務です。午前中はゆっくりできて、体を動かすために30分以上歩いて買い物に行ったり、役所や銀行などいろんな用事を済ませたり、睡眠は今のまでの人生のなかでいちばん取れています。以前は明け方までだらだらと携帯を見たりして過ごしていましたが、一度帰ってすぐに寝たら調子良くて、それからは帰宅後は1時間以内に寝ることを徹底し、休日も睡眠も結構充実しています。

UTグループ入社までの経歴は？

最初に入った会社に10年勤めましたが、経営状態や評価、給与に不安があり、一度リセットして、違う道に飛び込もうと思いました。いくつかのアルバイトを経て、まったく知らない土地で暮らすのもいいかなと、求人サイトで見たUTグループの面接を受けて、去年の夏に入社しました。社宅もあるし、通勤も送迎バスで便利です。でも高校を卒業するときに、好きなことをみつけて進学していたら、もっと多くの人とふれあえたかもしれないと思うこともあります。

ONタイムはどうですか？

ここ1〜2カ月で職場にも慣れ、同僚とも話すようになりました。最近では、職場でちょっとしたトラブルがあって、私がおの場で上司に電話で掛けあったことを、あとでみんながほめていたという話を聞いて、ちょっとうれしかった。どこにいても見てくれている人がいるんだな、って。

私、精神的に弱い面があって、作業に追われたりするとあきらめちゃうことがあるんです。みんなガンバってるのに、申し訳なくなる。今の現場はみんな優しいし、日勤の人たちとも2時間くらい時間が重なるので仲良くなって、仕事外でもご飯とか、一緒に遊びに行っています。

職場で頼れる人はいますか？

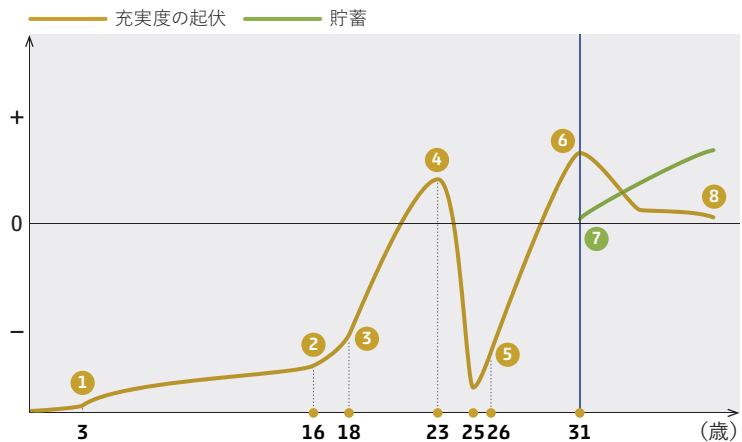
あまりいないですかね。頼りたいと思わないというか、人に相談できなくて、ためちゃうタイプなんです。その爆発が、多分コンサートだったりして、それで忘れちゃう。今はまだ爆発することはないですが、昔は結構爆発してて、そのたびに精神的に落ち込んでいました。それじゃあダメなんで、今はちょっと切り替えができるようにはなっていますかね。

これからのライフプランは？

これからどんどん衰える年代に入っていくと、60とか65歳が本当に楽しんで生きられる最後のピークだと感じています。今、すごい楽しいので、私の人生、35歳まででもいいかな、とも思います。とにかく幸せに終わりたい。で、働けるうちは何歳までも働いて……。今の現場にも70歳近くの人もありますし、今のうちに好きな場所で、より安定して長く働ける地盤をつくっておくのがいちばんだと思っています。だから、いろんな場所のいろんな仕事をしてみたいのですが、引っ越しは費用もかかるし、貯金も残すというよりは、使い切らなかったのが残って感じなので、ここに来たころは前借り制度を利用させてもらっていました。家賃や交通費など、今まで出ていた分を会社が負担してくれるので、貯金は本当に、今、これからが始まりですね。

● Life Line Chart

- 1 3歳。このあたりから記憶がある
- 2 16歳で「今後どうする?」を本格的に考える
- 3 高校卒業。とりあえず働いてお金を貯めたいと、進学をやめる
- 4 23歳で指導的立場を経験し、成長のいちばんのピーク
- 5 会社を辞める決心をしたら、やりたいことがすぐ出てきた
- 6 UTグループ入社後はOFFもONも充実
- 7 貯金はこれから
- 8 幸せに終われるなら人生35年でもいい



50

歳

50歳くらいで終わってもいい。
老後のことは考えていないので、死ななかったらマズイかもしれない。

OFFタイムは何をしていますか？

競馬が好きで、よく見に行きます。休日は自然起床で、8時
か9時に起きて競馬場に出かけます。最近は馬にみんなで
共同出資する「一口馬主」を始めて、自分の馬や仲間の馬
を応援するのが楽しみです。健康にはあまり興味はないで
すが、タバコも吸わないしお酒も飲まない、野菜も魚も好き
で暴飲暴食もしないし……。そんなに不健康なことをして
ないんです。生活パターンも一定だし……。

ONタイムはどうですか？

年度末の1〜3月は忙しくて、残業があります。仕事を離れ
たらきちっとOFFにするために、仕事のときは全力を注ぎ、
家には仕事を持ち込まないようにしています。
ストレスはあまりたまらないタイプですね。きっと自分でス
トレスをためない方法を知っていて、無意識にそうしてるん
だと思います。仕事でも知識や技術を吸収するというよりは、
持っているものを引き出して、問題を解決しているタイ
プだと、自分では思っています。引き出しが多くても、うまく
出せない人はやはり仕事はできない、と、今の業界にいて
そんなふうに感じています。今の業務は自分1人しかいなく
て、任されている感じがあるので、すごく充実しています。
以前は派遣にこんなことまでさせんなよ、と、逃げの考え方が
ありましたが、今は、派遣にもここまで任せてもらえるんだ、
と、考えて、積極的にやるようにしています。

キャリアへの考え方は？

高校を出て就職した会社から、もっとレベルの高い仕事が
したくて派遣会社に移りました。派遣のメリットは、経歴や

持っているスキルに限定されない仕事に従事できるし、派
遣先でいろんな人とふれあって一緒に仕事ができることだと
考えています。そこに楽しさを感じています。

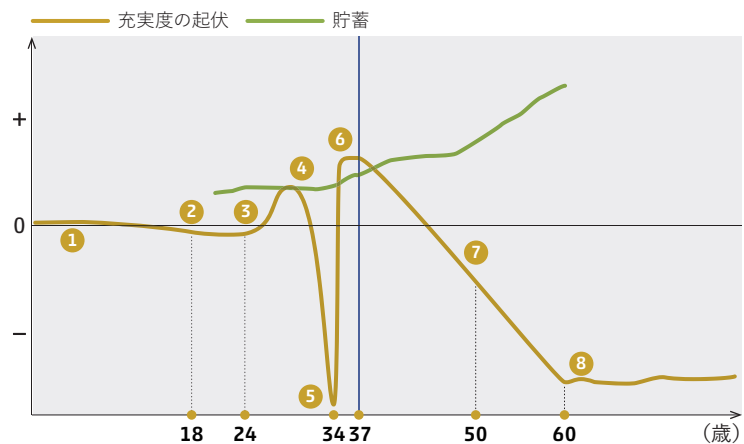
でも正社員への登用もないし、いずれ切られるなら、転職
できるうちに非正規労働は止めようと思って、正社員とし
て就職した会社がまったく違う業界の営業で、すごくきつ
くて……。数日で辞めました(笑)。自分の未熟さが全部指
摘されたようで、すごく落ち込みましたが、今となっては良
い経験でした。昔は、仕事はお金のためと思ってましたが、
最近では、責任を持って、それを達成したときの成長が財産
だと気づきました。

これからのライフプランは？

過去の人生のどこかを最高の瞬間にしまうと、昔話にな
ってそこで止まってしまうので、今の瞬間から未来をつ
くっていく、という考え方なんです。長生きとか老後にも
まったく興味がなくて、普段から来週死んでも後悔しないよ
うに生きているので、若くして——それこそ50歳くらいで
終わってもいい。年をとると、できることも食べられるもの
もどんどん少なくなって行って、そんなふうに生きていてホ
ントに楽しいんだろうかと考えます。でも意外と健康なの
で、長生きしちゃうんじゃないかなと、ちょっとビクビクし
ているんです。人生70年、だとすると60までは働かないとね。
UTグループは大きいし、考え方がしっかりした会社なので、
安心感があります。ファイナンシャルプランナーの資格も
取ったし、興味があっていろいろ勉強して買った仮想通貨
がうまくいけば、相当な資産になるんですけどね。

● Life Line Chart

- 1 何不自由なく育つ
- 2 18歳で就職。なるようになるだろうと考えてた
- 3 派遣に転職。9年同じ会社で派遣元が3〜4社替わる
- 4 「このままでいいのか」と思い正社員で就職
- 5 初めての営業がきつくてすぐ辞める
- 6 UTグループへ。過去の経験から良い仕事を任される
- 7 このあたりで余命宣告を受けたら、死ぬほど遊ぶ!
- 8 生き残ったら働いて貯金を殖やす



70

歳

70歳くらいまでかな。
父がそれくらいで死にましたから……。

OFFタイムは何をしていますか？

音楽学校を出て、演劇の台本を書いたりもしていたので、
あるきっかけがあって、一発で宝塚歌劇にハマりました。2
万円ほどのお小遣いをたまにオマケしてもらって、月に1回
は見に行きます。タバコは吸わないし、酒は飲みに出かけ
るよりも逆にみんなを家に呼んで飲むし、あとは本を読むく
らいなので、お金はあまりかからないです。

UTグループ入社までの経歴は？

最初は特定の業界に専門化した派遣会社で、派遣社員か
ら正社員になりました。しかし父の他界を機に辞めて、実
家に戻って近くの工場に就職しました。40歳手前で、異業
種での今までにない経験も積めたし、工場より給与がずつ
と良くてスキルもあった以前の業界へ戻ってみたのですが、
状況はもうすっかり変わって……。
この転職はちょっと安易だったかもしれません。で、ほかの
選択肢のなかでは比較的給与の良かったUTグループに、
1年ほど前に入社しました。

ONタイムはどうですか？

以前の業界では店長や営業責任者、実家近くの工場でも
工程管理を任されていました。完成や納品の期日から逆
算して、優先順位や役割分担を徹底したことで、これまで目
標が達成できなかったことはありません。以前の業界にい
るときにマネージメントの研修を受けて、自分では仕事観
が変わったかなと思うくらい、今もそれが役に立っています。
UTグループでは最近、工程のリーダーになりました。さら
にその上をめざして、といってもそこに必要なスキルはまだ

みえないので、とりあえず今のまま学んで、必要なスキルが
あったらそれにも挑戦していきたいと考えています。

キャリアへの考え方は？

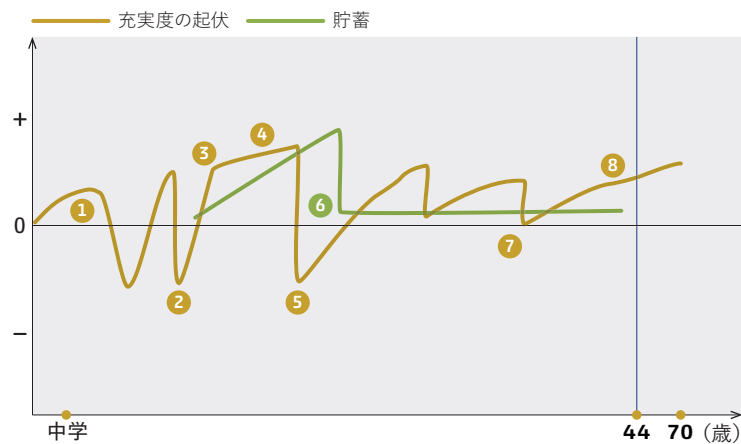
長い目でみて挑戦を続けていく人と、直近の給料が良いの
で、腰掛けのつもりでいるだけの人と、今の職場には極端
に違う2種類の人があります。実家近くの工場では正社員で
したが、定年までの昇進も、給与も、暮らしもみえてしまって、
それが面白くなって辞めました。
UTグループは現場での昇進だけではなく、マネージャーや、
営業などの本社勤務の一般職、管理職など、いろんなチャ
レンジができる会社だと思って、自分でもドライブをかけて、
ぐんっと上に上がる挑戦ができるのではないかと、と思い
ます。ただ、そのチャンスをモノにできるかどうか、かなり不
安です。今年はリーダーになったばかりなので控えようと
思っていた本社勤務へのチャレンジも、マネージャーからも
勧めていただいて、申請することにしました。

これからのライフプランは？

70歳くらいで死ぬまで、何かしらの仕事はしていきたいです
ね。7年ほど前、結婚を機に中古の家を買ってフルリフォーム
したので、今は貯金はないです。妻も「もうじき働こうか
な」と言いますが、これからの人生設計は私の出世次第だ
と考えています。子どもたちの将来もまだみえないし、今
の給料でははちょっと厳しいので……。お金のことは私が
やったらだらしないので、給料もぜんぶ妻に渡して任せて
います。なので、資産の運用の知識はほとんどないですね。
給料は、本当に、多いに越したことはないかな、と思います。

● Life Line Chart

- 1 小学校から音楽に興味をもち、中学でバンド結成
- 2 大学に片っ端から落ちて音楽学校に入学
- 3 音楽から映画制作、そして演劇の世界へ
- 4 仕事が順調。自分の劇団で初公演!
- 5 父親の他界で実家へ、工場の正社員となる
- 6 結婚で新居購入。貯金がなくなる
- 7 以前の業界へ戻るもうまくいかず
- 8 UTグループ入社から上り調子。
いろんなことに挑戦したい



40歳|女性|未婚|高卒|実家住まい・両親、兄弟と同居|勤務形態:日勤・土日休・夜勤なし|転職7回|年収:200万円〜400万円未満|貯蓄額:10万円未満|資産運用なし

70歳

70歳くらいまででいいかな、と。
でもしぶとく生きてしまっ、介護とかさせてしまいそうな気がします。

OFFタイムは何をしていますか？

神社仏閣巡りが好きで、月に1〜2回はどこかに出かけています。やっぱり京都が多いですね。仕事でも歩く方ですが、休みの日も同じくらい歩けたらいいなと思っています。2年ぐらい前からちょっと病気を患って、そのためにも痩せなきゃって思っています。

あと、ヴィジュアル系バンドの追っかけをやってます。初めての海外旅行も、そのバンドの上海公演のチケットが抽選で当たったから。つい最近もライブのチケットが当たって、すごくうれしかった。仕事のリフレッシュになるし、私の生きるうえでの糧です。

UTグループ入社までの経歴は？

高校を卒業して最初に勤めた会社が倒産し、その後いろんな仕事をしてみました。25歳くらいで工場に勤めたんですが、それがすごく楽しくて、私には工場勤務があっているのだとわかりました。でもちょうど派遣切りが多くあった時期で、その工場も辞めることになったんです。

29歳のころ、夜勤中に水分を十分摂らなかったせいで体調を大きく崩し、そのまま病院へ連れて行ってもらったこともありました。復帰後には、仲間関係がなかなかうまくいかない現場もありましたね。配置替えを願い出ても対応してもらえず、つらくなって退職した会社もありました。UTグループに入社したのは2年ほど前、求人広告の「パソコンを使った仕事」という内容にひかれて転職を決めたんです。

ONタイムはどうですか？

たまに体調に不安があることもありますが、すぐ治るし、もう

慣れてしまったので、仕事に支障はありません。今配属されている部署にはUTグループの先輩が2人いて、どちらもすごく良い方で、たまにプライベートでも遊びに行ったりしていただける関係になれたのが、とても良かったと思います。

キャリアへの考え方は？

先日UTグループが主催する「キャリアデザイン研修」を受講してみました。結局は、今の職場を替わるという話ですね。少し給料が上がるとしても、私の年齢で転籍や異動は、ちょっと困るかな、と思います。ずっと地元にいるので、ここに定着して勤め上げたいと考えています。20代、30代なら他県への異動もぜんぜん行けるけど、そろそろ親の介護もしないといけないような感じなので、そのときになって介護で休んだりできるのか、ちょっと不安はあります。

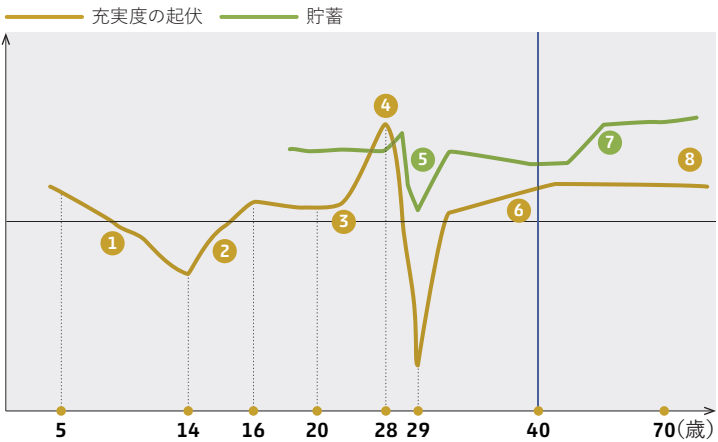
これからのライフプランは？

できたら定年の60歳までは働きたい。今勤めている派遣先がいさしてくれれば今のまま、ほかの会社に移ったら、仕事内容で辞めるか続けるか考えます。そのあとは、どこかのパートなり何なりするんだらうな。最近では面倒くさくなって、私の人生プランに結婚は入れてないので……。家族に老後の迷惑をかけずにぼっくり逝けたら、それで十分じゃないかと思っています。

ただ、両親が亡くなったあとずっと実家にいるわけにもいかないだろうなと、漠然とした不安もあります。薬や通院でずっとお金がかかっていて、貯蓄はなかなかできず、です。60歳までに200万円は貯めたいけど、もうちょっと頑張らないと。追っかけも続けたいし……。

● Life Line Chart

- 1 小中学校ではいじめにあい、いい思い出がない
- 2 中学卒業で解放され平穏な高校時代を過ごす
- 3 25歳。製造業の仕事が楽しかった
- 4 上海へ初海外!テンション超マックス
- 5 29歳で大きな病気をする。貯蓄も目減りする
- 6 UTグループへ入社。職場に仲良しが多くできてプラスへ
- 7 老後の貯蓄目標は200万円!
- 8 多くは望まず、このまま続いてほしい



37歳|男性|既婚|大卒|借家住まい・子どもなし|勤務形態:日勤・土日休・夜勤なし|転職0回|年収:400万円〜600万円未満|貯蓄額:10万円〜100万円|資産運用あり

80歳

80、90歳くらいまではいっちゃいそうですね。
体は丈夫なので、長生きはするんじゃないかと思います。

OFFタイムは何をしていますか？

結婚して部屋もキッチンも広くなったし、妻も働いているので家事は半々で、それで料理をするようになりました。買い出しにも行くので、近所の商店街の人たちとも仲良くなりました。最近で評判が良かったのは、メンチカツですね。週末にはジョギングで45km走るなど、適度に運動して、たまにUTグループの同僚や派遣先のチームでフットサルもやります。先日の東京マラソンに当選して走って、それから本格的にやり始めたんですが、それがクセになってまだ走っている感じです。自然と生活が規則正しくなる方なので、もうすぐ子どもが生まれてリズムが変わると、体調不良が出はしないかとちょっと心配です。

ONタイムはどうですか？

新卒で入社した会社が、その後UTグループのグループ会社になりましたが、派遣先はそのまま変わらず、トータル15年くらいでしょうか、先方の社員の方たちとも仲良くしてもらってます。納期のある仕事やできそうもない仕事やり遂げられたり、先方からさんざん怒られても、最後にほめられたりすると、あきらめなくて良かったと思います。夜間の大学に通いながら今の会社でアルバイトして、コストや期間のなかでやり遂げる、社会人としての責任を教してもらいました。とても可愛がってもらったので、僕も、後輩たちにそんなふうにしてあげたいですね。

後輩の人たちは？

最近結構増えて、派遣先全体で10人、僕のところに1人います。年齢や性格の違いもあるかもしれませんが、わか

らないことでも、以前やったことの応用を効かせて、責任持ってやろうとする人と、言われたことしかしなかったり、新しいことに対応する基本ができていない人とは、やっぱり成長の早さも違います。

キャリアへの考え方は？

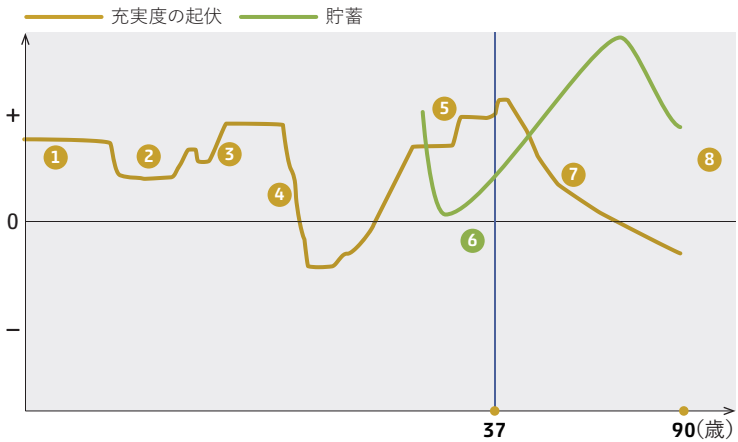
学生時代にもうちょっと勉強しておけば良かったと、ちょっと後悔しています。あのときは勉強の意味がわからなかったけれど、社会人は日々勉強で、新しい技術も資格を取るのも勉強なんですね。勉強しておけばスタートダッシュもできたし、今思うと海外留学もしといた方が良かったかな、とも思います。なので社会人になってから、スキルアップを考えて、6年ほど英会話教室に通いました。最近また始めています。結果はまだ出てないですが、情報処理の試験も受けるようにしています。

これからのライフプランは？

結婚や妻の妊娠、生まれてくる子どものことなど、うれしいことはちょいちょいあります。その積み重ねですね。子どもが成長して僕も年をとっていくと、派遣でやっていくことの漠然とした不安はあります。転職も難しくなるし、家庭を持つと異業種や別の場所に移動しにくくなる。今後自分をどうマネジメントするかは、やっぱり考えます。親がいるので、故郷へのUターンもアリかな、とか、海外勤務もできればしたい、とか……。貯蓄は、僕と妻とそれぞれの給料から10万円ずつを共通の口座に入れています。投資信託とUTグループの「持ち株制度」など多少の資産運用は、ちょっと興味があったので、やり始めてはいます。

● Life Line Chart

- 1 両親から大切にされ、やんちゃに育つ
- 2 思春期で少しすさむ。高校では陸上部に所属
- 3 彼女ができるもすぐに別れ、東京の大学へ
- 4 UTグループ入社直後のプロジェクトは結構辛かった
- 5 結婚して仕事もプライベートも落ち着く
- 6 結婚で貯蓄が目減りする
- 7 子どもが生まれて、漠然とした不安も……
- 8 貯蓄目標2000万円!



80

歳

80歳くらいまでは生きるんじゃないですかね。
それともう10年、90歳くらいまでかもしれませんね。

OFFタイムは何をしていますか？

OFFタイムは、ずっと家でアニメとかを見ている。去年の終わりのころから胃腸炎になることがめっちゃくちゃ多くて、つい先日でも医者に行ったら顔を覚えられていて、「またですか」と言われてしまいました。生ものが好なせいだと自分では思ってて、それは避けようかなと考えています。

土日はだいたい、会社の人たちとべろんべろんになるまでお酒を飲んでますね。今日も明け方まで飲んで、ここへ来ました。お酒を飲むことでストレスを発散させているので、最近、内臓脂肪がちょっとたまってきたかな、と心配です。

ONタイムはどうですか？

今の現場は、業務としてのやりがいはあるんですけど、派遣先で何をやっても、派遣元の評価はなかなか得られません。評価してくれる人が、近くにいないんですね。ですから給料も上がらず、やる気が今ひとつ出ない。配属されている現場も、自分の希望とはちょっと違いますし……。

キャリアへの考え方は？

UTグループへは新卒で入りました。技術者って、一回手に職をつけてしまえば、どこに行っても困らないと思ったので、漠然と技術者になりたいと思っていたんです。UTグループだったら、いろいろな職種やキャリアアップの道が用意されていて、ひとつづつ自分にあわなくても次に移れるかな、と、そう考えて入社を決めました。

僕の技術者のイメージは、プログラミングができたり、CADや専用のソフトが使える人、ですね。大学時代にプログラミングは少しやりましたが、もう少しちゃんとやっておけば

良かった。UTグループでは、CADなどの専門のソフトのオペレーションを学びたい。上司には、CADの研修を受けさせてもらったうえで、設計関係への配属を希望しています。CADの次には、3DCADもやりたいですね。

同僚の人たちは？

夜中のカラオケや飲み会で、よく仕事のことも話します。なかにはやりたいことがある人もいますが、結構みんな何がやりたいか漠然としています。飲み仲間の後輩も「自分のやりたいことがわからない」といってます。そうかと思うと、「営業をやりたい」という後輩も結構います。実際、今年の4月から2人の後輩が営業職に移っています。

これからのライフプランは？

自分のやりたいことができると良いけど、そのうち給料に不満が出て、もしかするとそこでモチベーションが下がっちゃうのかな、と予想しています。給料は20代で400万後半、30代で500万を突破して、40代手前で500万後半に上げたらいいなと思っています。何となくのイメージですけどね。でも、CADを突き詰めていけば、そのくらいいけるんじゃないか、と考えています。

資産形成としては、仮想通貨をやってます。増えるというまではいかないけれど、月々の足しにしている感じです。株もやってみたけど、初期投資が厳しくて……。UTグループの持ち株も持っておけばよかった。月々の給料が残ったらそれが貯金になるので、いくら貯金するとか決めてないし、自分が月にいくら使っているのかもわかりませんが、いつの間にか増えているので、貯金はある程度持っています。

● Life Line Chart

- 1 中3で彼女ができ、高校生活も楽しかった
- 2 バスケットのスタメンキープで、人生の絶頂みたいな……
- 3 大学進学で彼女と別れる
- 4 彼女もでき、楽しい大学生活を送る
- 5 UTグループに入社
- 6 社会人になって貯蓄を始める
- 7 現在、ちょっとマンネリ気味
- 8 給料に不満でモチベーションが落ちるかも……



90

歳

90歳までは絶対生きたいですね。
子どもの成長も見届けたいし、孫の姿も見たいですから。

OFFタイムは何をしていますか？

昔から料理が好きで、余裕があればお菓子もつくります。子どもが小学2年生で、仕事と家庭の両立のコツとしては、疲れたら休憩するようにし、飼い犬と散歩して外の空気を吸うようにしています。早番は朝6時からの仕事で、午後3時には家に戻ります。子どもの習い事の送り迎えや買い物、家のことをして食事を済ませると、「もう寝なきゃ」という時間です。遅くても夜の9時には寝るようにしています。お風呂や寝床で、スマホの雑誌や明日つくる料理の本、ときどきマンガを読んだりするのが、ほっとできる時間です。

去年は母親の介護で、しばらく仕事を休ませてもらってました。母や祖母が病気がちなので、わが家の食事はなるべく自分でつくって、野菜を多くしたりバランス良くしたりと、気をつかうようにしています。以前は接客業で休日はバラバラでしたが、今は土日休みに固定しているので、ライフスタイルもうまくやっていけるようになってきました。

ONタイムはどうですか？

現場にUTグループの社員は100人ほどいますが、早番は私1人です。ベテランのパートさんとは仲も良く、とても頼りにしています。UTグループのマネージャーとは電話では話しますが、職場で顔をあわせることはあまりないですね。

UTグループ入社までの経歴は？

夫がUTグループへ転職するのと一緒に私も誘われて、去年入社しました。子どもが成長していろいろ学んでいくのを見ていて、私も何か違うことをやってみたいなと、前向きになれたんでしょうね。じつは私、すごい人見知りで、それ

を直したくて、これまでずっと接客業で働いてきました。それで、人とのコミュニケーションも少し心得ができたかな、と。私は昔から、あきらめて何もやらないで自己完結してしまうことが多くて、後悔も多いんです。自分ではダメだろうと思ったけど、あきらめないでちゃんと大学へ行っていれば、違う人生もあったかなって、ときどき思います。

キャリアへの考え方は？

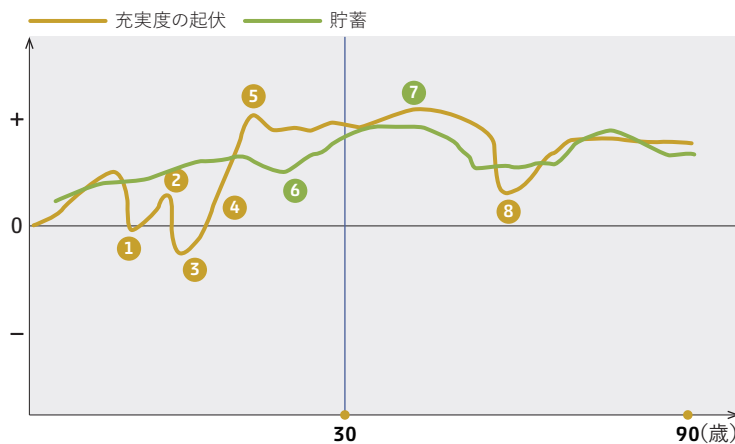
仕事中に機械のちょっと悪いところが直せたり、保全の方が大きな修理を行ったりと、そういう仕事もいいなと思いました。先日UTグループが開催する「キャリア形成説明会」で、以前から興味があったフィールドエンジニアの話を聞きました。詳しい説明はまだ受けてませんが、私もできたらいいな、と思います。修理できたときの達成感がありそうで……。夫もエンジニアの研修を受けたり、まわりにもごく少数ですが、キャリアアップしようとしてる方はいます。

これからのライフプランは？

私の父親が地域の活動が好きで、よく参加してるのを見ると、年をとってからの楽しみもあるんだろうと思います。でも、子どもの結婚や孫の誕生でお金がかかるので、定年まではずっと働いていたいと思っています。現在の収入はパートのときより安定してて、早い時間に家に帰れるので、すごい助かってるし、満足しています。クルマも2台は必要だし、最近家は買って結構なお金がかかりました。UTグループの「持ち株制度」を利用したり、貯金も毎月ちょこちょこしてはいますが、今は子どもの大学進学が気になって、自分たちの老後まではピンとこないですね。

● Life Line Chart

- 1 中学時代、学校も家もみんなうまいかなかった
- 2 高校時代に引っ越して一新
- 3 飲食業で上司とうまいかずへこむ
- 4 転職して気分を変える
- 5 結婚、出産、人生最高の瞬間!
- 6 家を買って貯蓄が減る
- 7 目標1000万円、子どもの大学資金は貯めておきたい
- 8 一人っ子の独立でへこみそう



90

歳

90歳、日本の平均寿命くらいはいけると思って。
健康なので、何かあった時になって、考えたこともなかった。

OFFタイムは何をしていますか？

最近はなかなか行けませんが、旅行が好きです。人と会うことも好きで、大学時代の知人も多いので、休みの日にはいろんな大学の学園祭や講演会に行ってます。以前はLINEやFacebookで情報交換して、週末に飲んだりカラオケに行っていました。今は夜勤なので、そういう機会もなくなりました。あとは睡眠と入浴を大事にしてて、近くのスパで半日過ごしたり、家でも1時間くらいお湯につかります。両親が高齢で家事もしているので、日中の3〜4時間の睡眠はしっかりとるようにしています。月に1度くらいはUTグループの社員どうし、飲みに行ったりもしています。

UTグループ入社までの経歴は？

大学卒業後は営業畑で、その後知人の起業を手伝ったり、警備員も経験しました。しばらく家業のアルバイトをしていたのですが、不況でたたむことになり、そのときはもう30代で、再就職は難しい年齢でした。知りあいが以前UTグループで働いていたと聞き、また、彼に勧められたこともあって調べてみると、正社員雇用だし、保険などの福利厚生もしっかりしているので、入社を決めました。

ONタイムはどうですか？

今の現場に配属されて15カ月くらいになりますが、私1人で仕事もこなせるようになり、だんだん後輩もできて、最近ではその育成にもあたっています。自分の教えたことが生きて形になるのを見るのは楽しいです。夜勤は、僕自身の希望です。給料が良いし、人の目を気にせず、先輩に教わりながら集中して仕事ができるので、自分を磨くことがで

きる。今は実力をつけることが大事なので。

キャリアへの考え方は？

僕自身は「出向社員」だと思ってますが、社会的に見れば「派遣労働者」なので、現状に満足はしていません。今は、上司にも相談に乗っていただきながら、キャリアアップをめざして挑戦しています。自分がステップアップできると、気分も上がりますしね。でも、まだ今の僕では力不足なので、勉強しないといけないと思っています。製造ラインの現場には現状で満足している人も多く、キャリアアップ志望は僕1人だけです。派遣じゃなくて、UTグループの正社員だという責任をもって仕事ができるような意識改革が必要だと思います。じゃないと、ちょっともったいないですね。

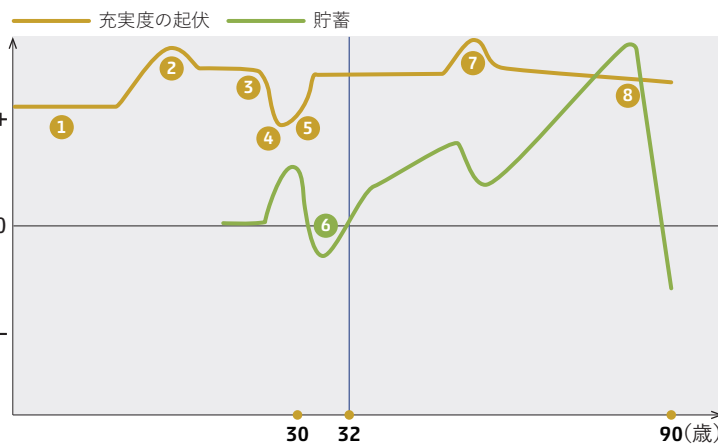
これからのライフプランは？

どこかのタイミングで結婚できればいいけど、ご縁がなくて……。彼女はめっちゃめっちゃ欲しいけど、今はそのタイミングではないかな。養えないし……。今のままの給与では、これからの人生を設計できそうにはありません。仕事で体力を消費して、給料は食費や家賃で使い果たして、その先に何があるのだろうと考えてしまいます。だからチャンスは積極的につかむべきだ、と思います。年齢×10万くらいの収入がないと、家族は持てないと思います。

貯金は社会人になって始めて、急に入用になったときでも、慌てなくても良いくらいは貯まりました。これまでの人生もだいたいポジティブでやってきたし、ずっと健康、ある日ぽっくり、という感じで、僕は最後の最後まで、たぶん絶望することはないと思います。

● Life Line Chart

- ① 一人っ子で、すごく愛されて育つ
- ② 3カ月の猛勉強で希望の大学に合格!自信につながる
- ③ 就職先での営業が心身ともにきつくて辞める
- ④ 転職と失恋でばっかりへこむが、貯金は貯まる
- ⑤ UTグループ入社、昔のモチベーションが戻る
- ⑥ 株で損する
- ⑦ このあたりで結婚したい
- ⑧ 「ある日、ぽっくり」が理想



101

歳

101歳まで生きたいですね。
生きられるものなら生きてみたいな、というだけのことです。

OFFタイムは何をしていますか？

お腹が出てきたので、最近、休みの日にはちょっとだけ筋トレを始めています。学生時代には柔道をやっていました。会社の寮に住んでいるので、休日はたいがい職場の人たちと食事に行ったり、飲みに行ったりしています。4日出勤して2日休日があり、4日ごとに昼と夜の勤務が入れ替わりますから、仕事はとくに夜勤明けがきついんですね。昼寝の時間を変えてみると、うまく次の昼の勤務につなげるように、体調を戻すための研究をずっとしています。疲れているからといって夕方まで寝てしまうと次の昼勤務がつらいので、あんまり寝過ぎないことがコツだということがわかってきました。

ONタイムはどうですか？

今年から現場のリーダーになって、部下からは文句ばかり言われてます(笑)。部下にはもちろん女性もいて、頭ごなしにきつく言うとももついてきてくれないので、ときどきさり気なくようすを見に行き、軽くフォローしてくるようにしています。去年はほかの派遣会社の新人が20人ほど一度に入ってきて、教育して何とか現場を維持したら、派遣先の上司にほめられました。ほかの会社の派遣社員でも、わけへだてなく接しないと仕事が回りません。でも、やる気のない人が多いです。やりがいがないんでしょうか、「やらされている」という感じですね。僕の直接の上司にはなるべく自分から顔を出すようにして、密に連絡をとるようにしています。でも、まだ円滑に回せているとはいえません。

キャリアへの考え方は？

20代で、「これからは派遣の時代だ!」と派遣社員になって、

ずっとリーダー的立場で働いてきました。リーダーは、若いと年長者になめられるんですよ。彼らに、どうやって気持ちよく仕事をしてもらうか、胃が痛くなるくらい考えました。一度パワハラと言われるくらい激怒したことがあって、そのときはずいぶん反省もしました。この業界には何かしら影のある人も多いですから、今もつきあい方は、ずっと考えながらやっています。UTグループはいろいろな制度が用意され、ほかの派遣会社とまったく違うので、興味をもって一昨年入社しました。とくに評価が給与に反映される制度は、やりがいにつながると思います。

同僚の人たちは？

パチンコや競馬にハマる人が多いですね。勉強すれば出世できるしくみがあれば、彼らもやる気が出るかもしれません。地方から来てる人が多いので、一緒にお酒を飲むと僕の知らないいろんな話が出て、面白いですよ。休みは2日連続してあるので、1日目はおいしい店を探してはみんな飲んで、互いに泊まりあったりしています。その方が仕事もやりやすくなるのかな、って思います。

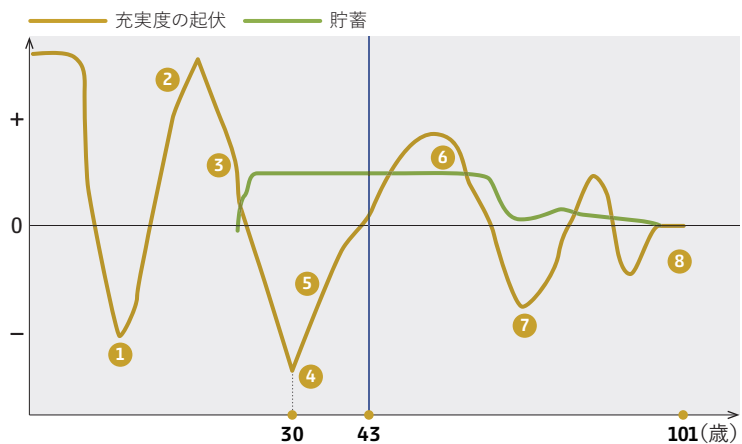
これからのライフプランは？

70歳までは働けるんじゃないかな? 製造の重労働は60歳が限界なので、保育所がわりに子どもの面倒をみるとか、何かできることをつくりたい。実家に帰って自営業をしたい夢もあります。

今僕が親にお金を入れているように、将来は、自分の子どもに稼いでもらうのが理想です。でもまだ結婚してもいないから、ちょっと無理かもしれませんね(笑)。

● Life Line Chart

- ① 10代で「俺って何なんやろう」という悩みにぶつかる
- ② 中学で柔道部に入部。体力がついて自信もつく
- ③ 阪神淡路大震災、オウムのサリン事件に「人間って何やねん」と思う
- ④ マンション購入
- ⑤ いちばんつらい時期を、周囲の支えで乗り越える
- ⑥ ピークは50歳。その後は病気もするかも……
- ⑦ 子どもに稼いでもらうのが理想!
- ⑧ 人生はプラスもマイナスもなく、ゼロで終りたい



ライフスタイル実態調査からみえてきたもの

「ポジティブな例外」の重要性

モノづくりの現場で派遣として働く人たちの実態把握が今回の調査の主目的ですが、同時に「ポジティブな例外を探す」という問題意識から分析やインタビューを行いました。

同じ環境で働いていても、イキイキと働く人とそうでない人がいます。イキイキと働く人はなぜイキイキとしているのか。それを解き明かすことが、次へのヒントにつながります。

働き方と健康をみる研究では、「ネガティブ要因が減少すると、ストレスは減るが、エンゲイジメントはあまり高まらない。一方、ポジティブ要因が増加すると、エンゲイジメントが高まり、ストレスも減る」とする報告があります。これは、ポジティブな状態に着目することで、複数の問題を同時に解決できる可能性を示したものです。

よりイキイキと過ごしている人からポジティブな特徴を抽出することは、ほかの同じような環境で過ごす人にとって役立てやすい、有効な施策につなげることができます。

OFFタイムの重要性

柔軟な働き方を可能にするテレワークの導入や、キャリアの多様化の支援など、働き手のライフイベントに応じる長期的な視野に立った施策は、もちろん大切です。一方で、働き手ひとりひとりには、仕事外の時間(OFFタイム)も含めた、その日1日の過ごし方があります。

WHOが定義する「個人が自分の能力を発揮でき、日常のストレスに対処でき、生産性が高い状態で働くことができ、コミュニティに貢献できる良い状態」という精神的健康を保つのも、良い生活習慣を含めた日々の積み重ねです。

経営の側面からも、働き手の仕事以外の生活に目を向け、働き手をひとりの人間として気にかけることの重要性が再注目されています。

ことに製造業で派遣として働く人は、1日1日の生活までフォローアップされる機会が、あまりなかったことが今回の調査からもうかがえます。また、派遣元にとって、派遣先のONタイムへの施策は限られるという面もあり、派遣として働く人たちに向けた施策では、OFFタイムのきめ細かなサポートが有効だといえます。

人生の3大リテラシーを考える施策への示唆

今回の調査からみえてきた、モノづくりの現場で派遣として働く人のライフスタイル像は、大枠

でみると、日本国内の正規雇用／非正規雇用のあらゆる職種を含めた先行調査と、大きな違いはみられませんでした。これは、UTグループがはやくから無期雇用の制度を敷き、キャリア支援に力を入れてきたためとも考えられ、今後、調査の範囲を広げて検討する必要があります。

一方、今回の調査結果を、人が安心して健やかに生きるために必要な、「ヘルス・リテラシー(健康維持)」、「コミュニケーション・リテラシー(人や地域とのつながり)」、「マネー・リテラシー(資産運用)」の3つのリテラシーの観点から細かくみると、いくつかの問題が浮かんできます。

ヘルス・リテラシーとしては、ごく基本的な生活の大切さが、あらためてみえてきました。十分な睡眠、肩こり・腰痛の解消は、ストレスからの回復を助け、野菜や果物を毎日の食事に取り入れるヘルシーな食生活は、仕事のパフォーマンスの維持につながります。家族や友人との交流をとおしてリフレッシュできるような休日の過ごし方もあわせ、心身ともに健康的で社会的な生活を支える施策が望まれます。

また、休日に自己研鑽ができる時間を取り入れられるような施策を設けることは、ワーク・エンゲイジメントを高めると考えられます。ワーク・エンゲイジメントは、キャリア形成の観点だけでなく、メンタルヘルスの観点からも有効であると考えられています。

派遣という多様な勤務形態の働き方では、よりきめ細かな対応が必要であることもわかりました。たとえば、睡眠にかかわるアンケート回答をみると、夜勤・昼勤を繰り返す、いわゆるシフトタイムで働く人が回答者の半数におよんでいます。分析では睡眠とストレス等の関連をみていますが、個人が抱える睡眠の問題は、それぞれに質が異なることが推察され、インタビューからその重要性もうかがえました。今後さらに具体的なケースの検討が求められます。

コミュニケーション・リテラシーでは、製造業においては、派遣先の同僚どうしでコミュニケーションを持続することが難しいとわかりました。これは、仲の良い同僚ができて、休みの日がそろわない、別の職場へ異動となり距離ができてしまうなど、派遣という働き方特有の問題です。孤立したまま高齢化することはもっとも避けなければなりません。OFFタイムで家族や友人と過ごすことが重要となりますが、地方に行くほど、地域の行事に参加するなど、仕事以外の友人、知人と良いコミュニケーションが築けていることがうかがえます。こうした地域との共生も、施策のひとつに考えられます。

ONタイムでは、日々の行動の手本となりながら、「あたりまえのことでもしっかりとほめる」ような、ロールモデルの育成が望まれます。上司には頼りがいが求められますが、仕事のうえだけではない、個人的な信頼関係を築くことが重要です。また、同僚と雑談ができるような環境づくりも有効だと思われます。



「はたらく力で、イキイキをつくる。」
キャリアプラットフォームの創造

マネー・リテラシーに関しては、あまり貯蓄をしないなど、将来設計に甘い傾向がみられました。今回のインタビューを考察すると、これは自身のライフプランが明確に描けないことに起因しているように思われます。

インタビューでは、現在の収入が低いために、10年後20年後の想定ができにくい、ということが見受けられました。また、自分の寿命を平均寿命より低く見積もる人ではとくに、将来の展望が不明瞭で不安を抱えていることがうかがえました。

人生が100年という長さになろうとしている今、計画的なライフプランを立てることは、誰しも難しくなっています。意図的、積極的な資産運用をしなくても、共済など、ゆるやかにライフプランを支えるしくみが必要です。

プラットフォームにかかる期待

今回、アンケート回答者の最小年齢は18歳、最高年齢は64歳でした。これだけ年齢差のある働き手が同じ労働環境で働くのは、モノづくりの現場の特徴のひとつといえます。アンケートでは、女性回答者の比率は23.4%にとどまるものの、独身の方も子育て中の方もいます。また、職場には、外国人技能実習制度で働く外国人も大勢います。モノづくりの現場での派遣という働き方は、まさにダイバーシティの最先端で、日本がこれから直面する問題のほとんどがそこにあります。

今後、ますます、働き方の多様化が進むことが予想されます。

働き手にとっては、多様なライフプランに沿った働き方の選択ができる大きなメリットがありますが、現状の非正規雇用は、将来の安定を保障するものではありません。

ヘルス・リテラシー、コミュニケーション・リテラシー、マネー・リテラシーに不安材料を抱えたまま、長く元気にイキイキと働き続けることは不可能です。働き手の生活や人生を支えるというコンセプトを持ったプラットフォームの整備が、今、もっとも待たれています。

「派遣」で働く、しくみづくりの必要性

日本は戦後の高度経済成長期以来、正規雇用(正社員雇用)、終身雇用を基本的な働き方のかたちとしてきました。正規雇用は、定年まで長く勤めることを前提とすることで、長期的な視野で学び・教えあう環境やシステムをつくり、「人」を育てられるという利点があります。また、福利厚生を充実させることで働く人の生活をサポートし、安心して仕事ができる環境を整えることができます。その結果生産性も向上し、企業も成長する好循環をつくるという考え方です。

しかし、現在日本の就業者約6500万人のうち、派遣社員を含む、非正規雇用で働く人の数は2000万人を超えています。このことは、企業が自社の仕事に従事する働き手を正社員として囲い込み、その働き方をバックアップし続ける時代は終わったことを意味します。

今回のライフスタイル実態調査では、ONタイムでの「人」を育てる環境の重要性とともに、日々の健康維持にかかわる「ヘルス・リテラシー」や、社内外の交友関係にかかわる「コミュニケーション・リテラシー」、また、将来設計に基づく資産運用を始めとする「マネー・リテラシー」など、OFFタイムのあり方が、ONタイム、ひいてはライフスタイル全体に影響を与えていることがみえてきました。

これまで企業が自社の社員にのみ提供してきた人材育成や、昇進、昇格、異動などの人事機能はもちろんのこと、働く人ひとりひとりのライフスタイル全体を支える、従来より一歩進んだ福利厚生機能を、どのようにして非正規雇用で働く人たちへと提供していくのか。今回の実態調査とその分析は、それが日本の課題であり、事業として取り組む必要があることを再確認させる結果となりました。

「はたらく」を支える「キャリアプラットフォーム」

UTグループ株式会社は、「はたらく力で、イキイキをつくる。」ことをめざしています。そのために、多様なキャリアパスを用意し、独自の教育システムをとおして「人」を育てる「キャリアプラットフォーム」の構築に尽力してきました。

この「キャリアプラットフォーム」に参加するすべての働く人は、自分が希望するライフプランにあわせて、自由に、自主的に自身のキャリアをデザインし、ステップアップしていくことができます。

そのキーワードは、「安心」、「つながり」、「成長」です。

創業当初からの無期雇用(正社員雇用)や、自社株の購入を助成する独自の持株会(社員持株会型ESOP)などは、安定した雇用の実現と、経済的な面での生活の安心をサポートします。またリーダーを含み、UTグループの社員で構成する「チーム派遣」や、全社員ひとりひとりを支援する「キャリアパートナー制度」は、日々の業務やキャリアアップはもちろん、生活全般にわたって相談できるような、つながりの環境を提供します。

そして、「キャリアプラットフォーム」の中心となるのが、多様なキャリアパスです。UTグループの派遣先内での配置転換や転職(Jobチェンジ制度)、エンジニアへのキャリアチェンジ

(One UT)を始め、本社一般職や役職ポストへの立候補(UTエントリー制度)、顧客企業への転籍(Next UT)などを積極的に制度化しています。こうしたキャリアパスには、独自の教育研究施設(UTACC)を拠点とした、さまざまな教育プログラムも用意されています。

イキイキと「いきる」プラットフォームづくりへ

UTグループは、こうした「キャリアプラットフォーム」の構築に携わりながら、より多くの働く人に参加していただけるよう、さらに進化・発展させたプラットフォームづくりに着手したいと考えています。

今回のライフスタイル実態調査の結果からも、職場は今、「働きやすさ」とともに、「働きがい」のある環境が求められているといえます。また、働き方を支える個々の施策も従来同様もちろん重要ですが、働く人の人生をまるごと支えるしくみへの転換が求められています。

とりわけ派遣という働き方は、所属する企業と働く企業が異なるという二面性を持っています。ONタイム(就労時間)における「働きやすさ」と「働きがい」をともに実現するためには、派遣先企業とのより緊密な協力関係が重要になってくるでしょう。

そのためUTグループは、次世代型プラットフォームのポイントとして、次の3つを掲げました。

1. キャリア機能の充実

「成長」をキーワードに、より多様なキャリアパスを拓きます。それに応じて必要な教育プログラムを独自に構築し、研修施設「UTACC」を始め、自宅でも学習可能なインターネットによる「eラーニング」も活用しつつ、より利用しやすいように展開していきます。また個々のスキルやキャリアを資産と考え、その向上のための勉強や研修に投資をするファイナンスサポートも、銀行と協力して構想中です。

派遣という働き方においてキャリアアップの契機となるのは、何よりも派遣先での、ひとりひとりに対しての適切な評価です。従来難しかったこの評価も、UTグループでは「Jobグレード制度」として制度化し、すでに5000名の社員をその対象としています。派遣元と派遣先の企業が、「共同で人を育てる」という意識を持って今後さらに歩み寄ることで、よりスタンダードな制度として実現させていこうと考えています。

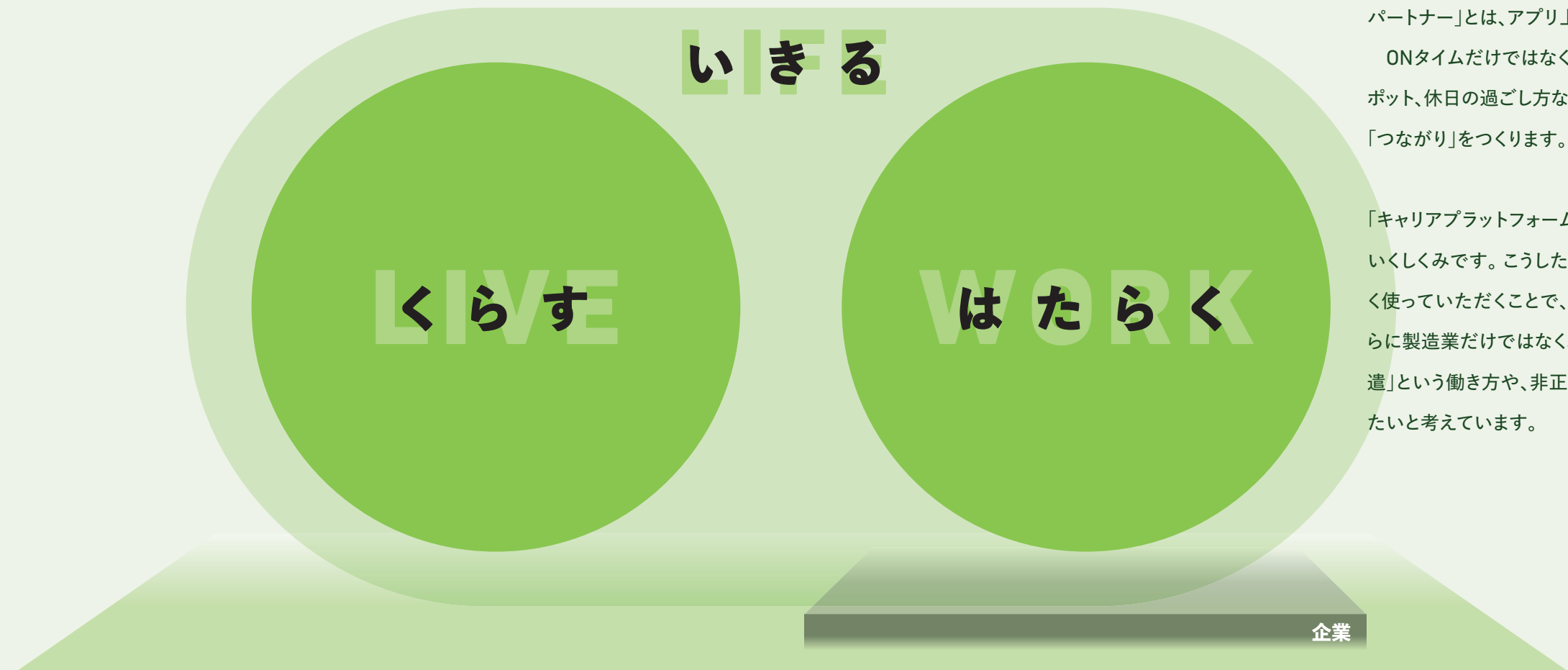
また将来的には、キャリアアップのための研修施設や教育プログラムを、UTグループ以外の働く人たちにも利用できるようにしていきます。

2. 新しい福利厚生サービスの導入

「安心」をつくるしきみをさらに充実させ、働く人の生活、余暇、人生の全般を支えています。すでに全社員の約20%が活用する社員持株会を始め、将来に備えた資産の形成・運用をサポートするさまざまなサービスを開発します。

また、今回の調査結果にも示された「食」の重要性に対しては、給食・配食会社と連携した給食サービスも検討しています。

現在では、UTグループの社宅供給は全社員の約50%に及んでいますが、今後は居住者どうしのコミュニケーションを促進するシェアハウスのような運営など、新たな試みも導入し、OFFタイム



のさらなる充実を図ります。

長く働き続けるためにも、新たに仕事をスタートさせるためにも、欠かせない「食」と「住」の問題。UTグループが構想する「キャリアプラットフォーム」には、誰でもが気軽に、すぐにでも参加でき、安心して働き続けられるような、充実した生活の環境が整えられていきます。

3. 情報提供の拡充

仕事と生活、「働きやすさ」と「働きがい」をつなぐのが情報の共有です。UTグループでは独自のアプリケーションを使って、どんな仕事があるのか、どんな仲間がいるのかなど、社内や派遣先の情報を「見える化」します。経験豊かな先輩や、キャリアアップをサポートする「キャリアパートナー」とは、アプリ上の交信から実際の面談を申し込むこともできます。

ONタイムだけではなく、趣味のサークルやコミュニティ活動、地域のお店情報、オススメのスポット、休日の過ごし方など、働く地域の情報も発信することで、OFFタイムも含めた生活全般の「つながり」をつくります。

「キャリアプラットフォーム」はつくることが目的ではなく、活用されるなかで更新され、充実していくしくみです。こうした「キャリアプラットフォーム」を、UTグループの社員以外の人々にも広く使っていただくことで、企業間、また働く地域との新しい「つながり」を創造していきたい。さらに製造業だけではなく、幅広い領域に拡張していくことで、日本中、さらに世界に向けて、「派遣」という働き方や、非正規で働く人を支援する、社会のインフラストラクチャへと育てていきたいと考えています。

キャリアプラットフォーム

安心 のしくみ

- ・正社員雇用———全社員を原則的に正社員として採用
- ・住環境の整備———社宅整備、勤務送迎、初期費用貸付制度など
- ・健康の維持———専任栄養士のメニューサポート、給食サービスなど
- ・余暇を楽しむ———クルマなどシェアリング型の各種レンタルなど
- ・資産を形成する———社員持株会型ESOPなど
- ・ほか、上場企業としての各種福利厚生サービス

つながり のしくみ

- ・チーム派遣———リーダーのいる30名以上のチームで働く
- ・職場体験VR———職場を事前に疑似体験できる機能
- ・UTグループコミュニケーションアプリ
 - 社内外情報・就職情報の配信
 - 各種制度・サービスへのエントリー機能
 - 各種サークル、コミュニティ支援
 - 経験者への個別相談支援
 - ……など
- ・地域との連携
- ・プラットフォーム機能の社外への提供

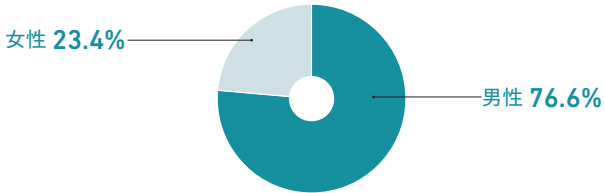
成長 のしくみ

- 多彩なキャリアパス
- ・jobグレード制度———働く現場での適正な評価と昇級制度
- ・jobチェンジ制度———UTグループ内配置転換・転職制度
- ・One UT———UTグループ内他社への転籍制度
- ・UTエントリー制度———本社一般職、役職ポストへの立候補制度
- ・Next UT———派遣先企業への転籍支援制度
- キャリアアップのサポート
- ・就業基礎力研修———入社時研修
- ・技能・知識の学習———OJT、社内教育・研修
- ・各種資格・免許の取得———社内外の教育・研修
- ・エンジニア研修———UTグループ教育・研修施設UTACCほか
- ・e-ラーニングを活用した独自の教育プログラム
- ・自己投資ローン———学習資金などの融資制度
- ・キャリアパートナー制度———資格をもつ先輩社員による個別相談

ライフスタイル実態調査 アンケート結果

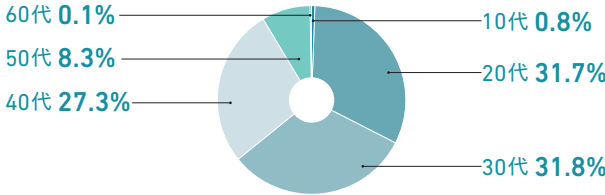
Q 01

あなたの性別をお答えください。



Q 02

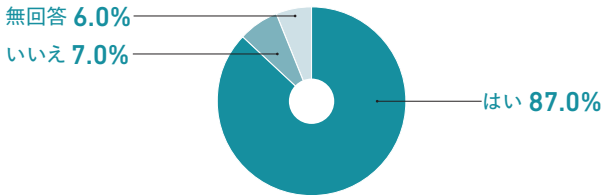
あなたの年齢をお答えください。(回答日時点での満年齢を、数字でお答えください)



あなたの休日について、おしえてください

Q 03

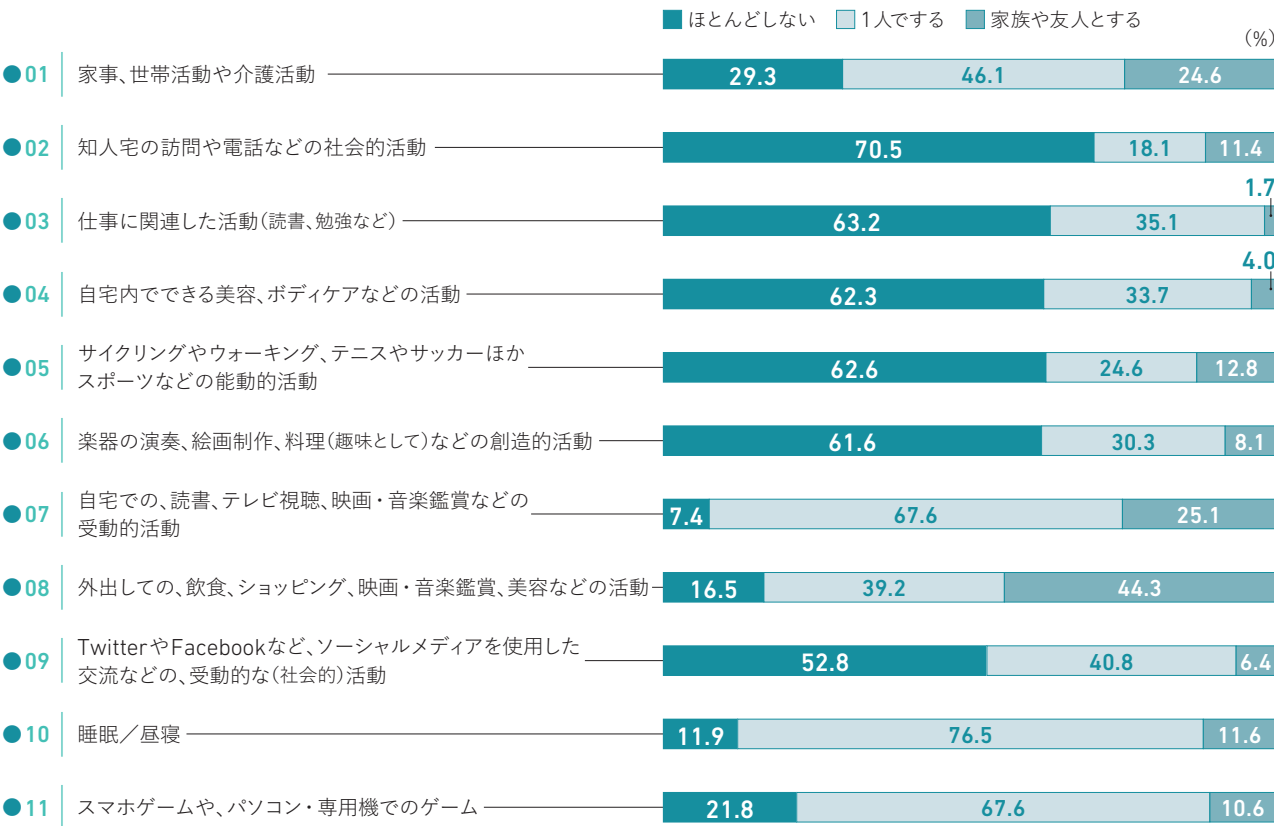
あなたの仕事は、ほぼ毎週、連続した2日以上のお休みがありますか。
(例：土・日 休み、火・水 休みなど。 *シフト制も含む)



Q 04

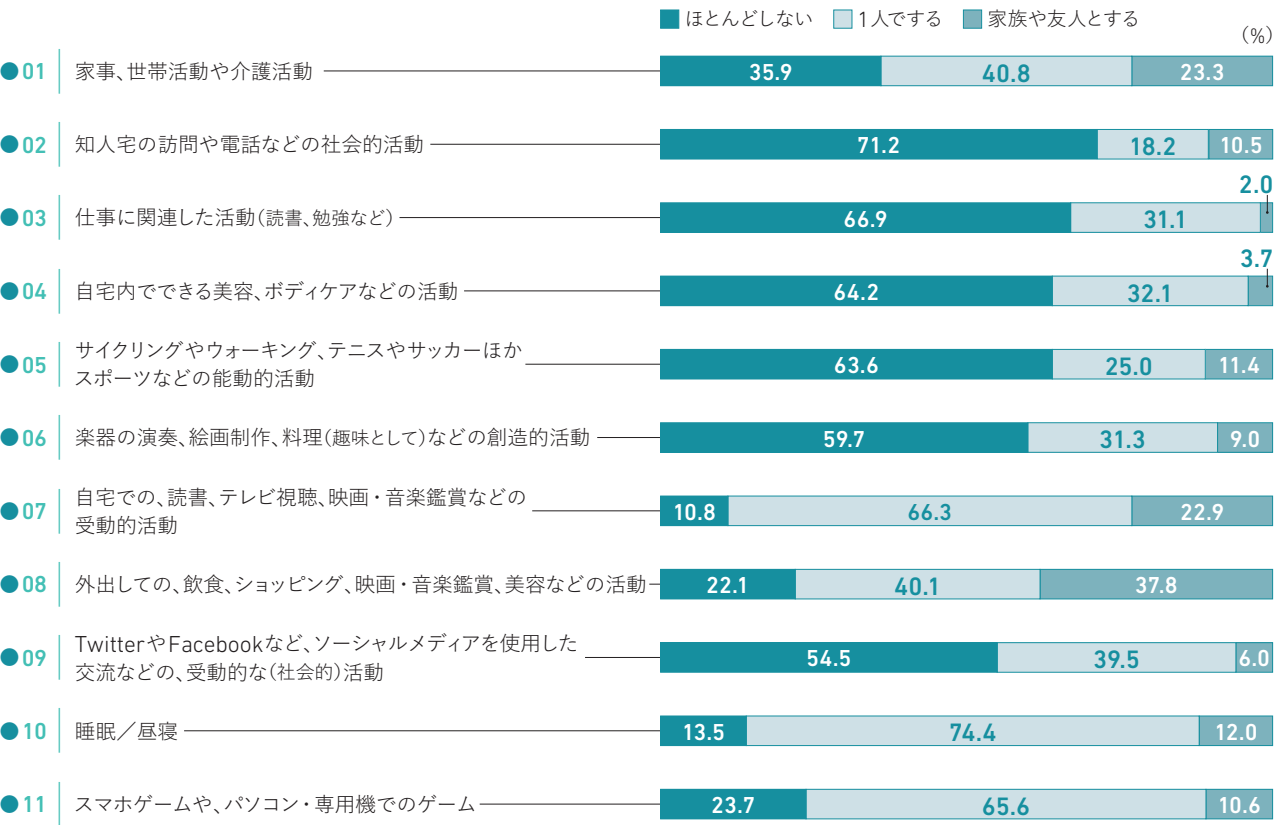
休日の余暇時間のうち、よく行う過ごし方は以下のどれですか。それぞれの項目について、「ほとんどしない」か、「1人でする」ことが多いか、「家族や友人とする」ことが多いか、どれか1つを選んでください。
「例：土曜日はスポーツをするが、日曜は読書をする」など、あなたの休日の過ごし方をお答えください。(ほとんどしない活動は、「ほとんどしない」を選んでください)

* Q3で「はい」と答えた方は休日1日目の過ごし方をお答えください。
* Q3で「いいえ」と答えた方は休日全般の過ごし方をお答えください。



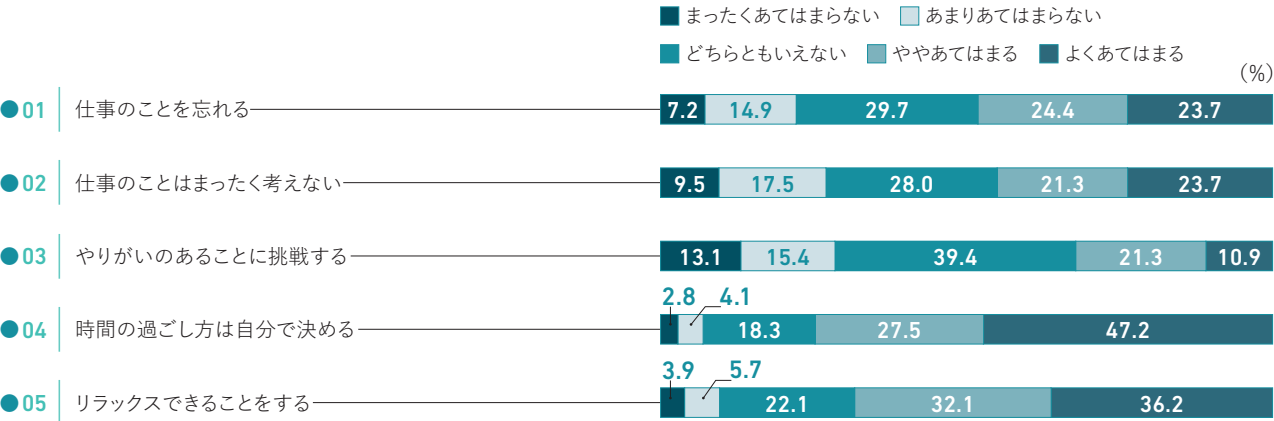
Q 05

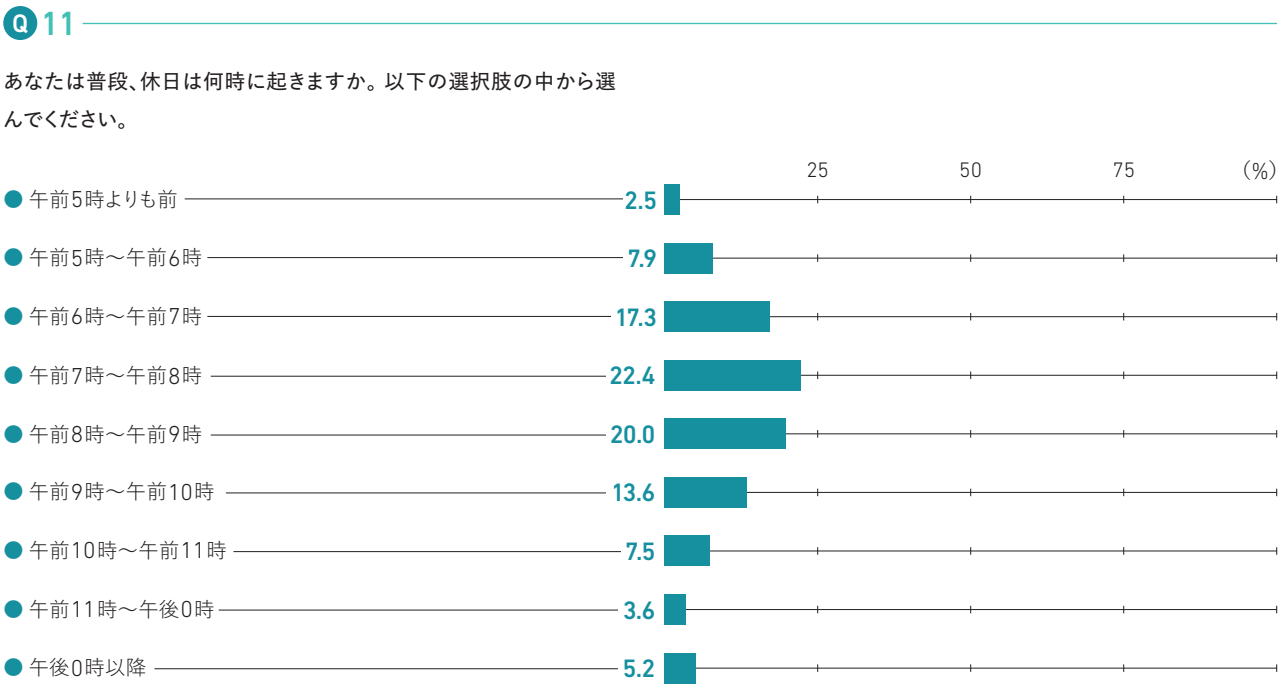
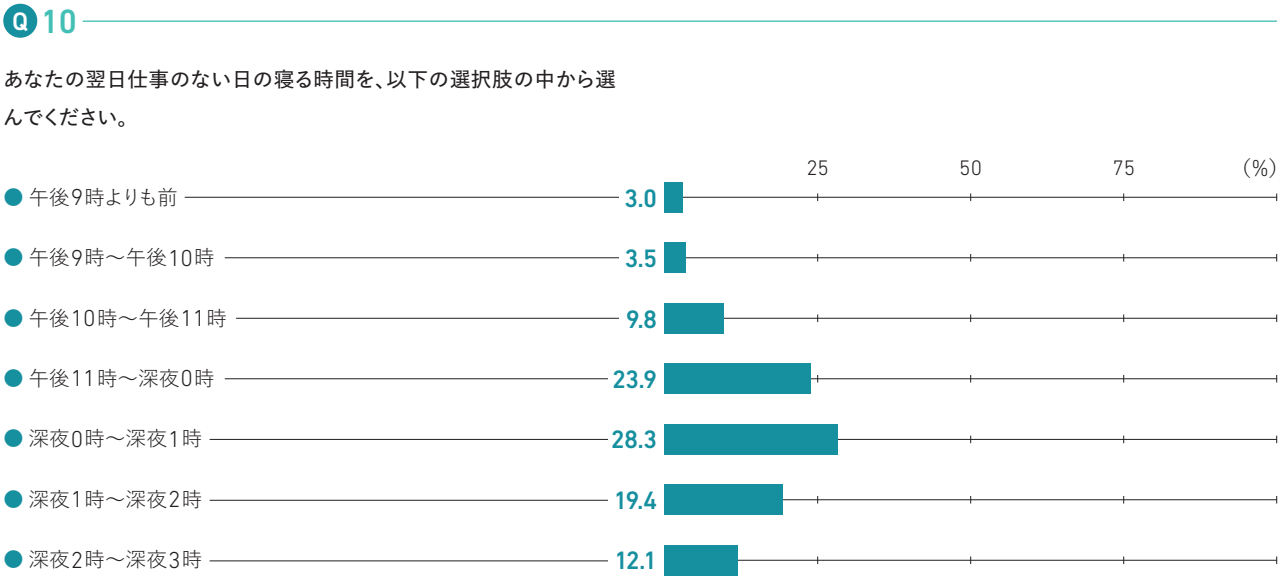
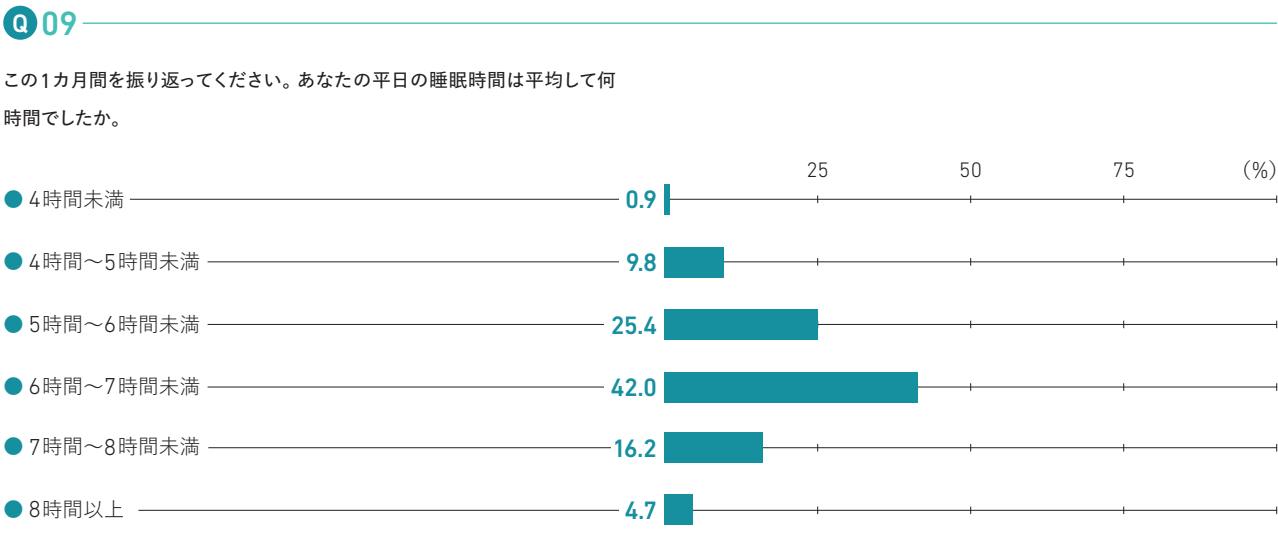
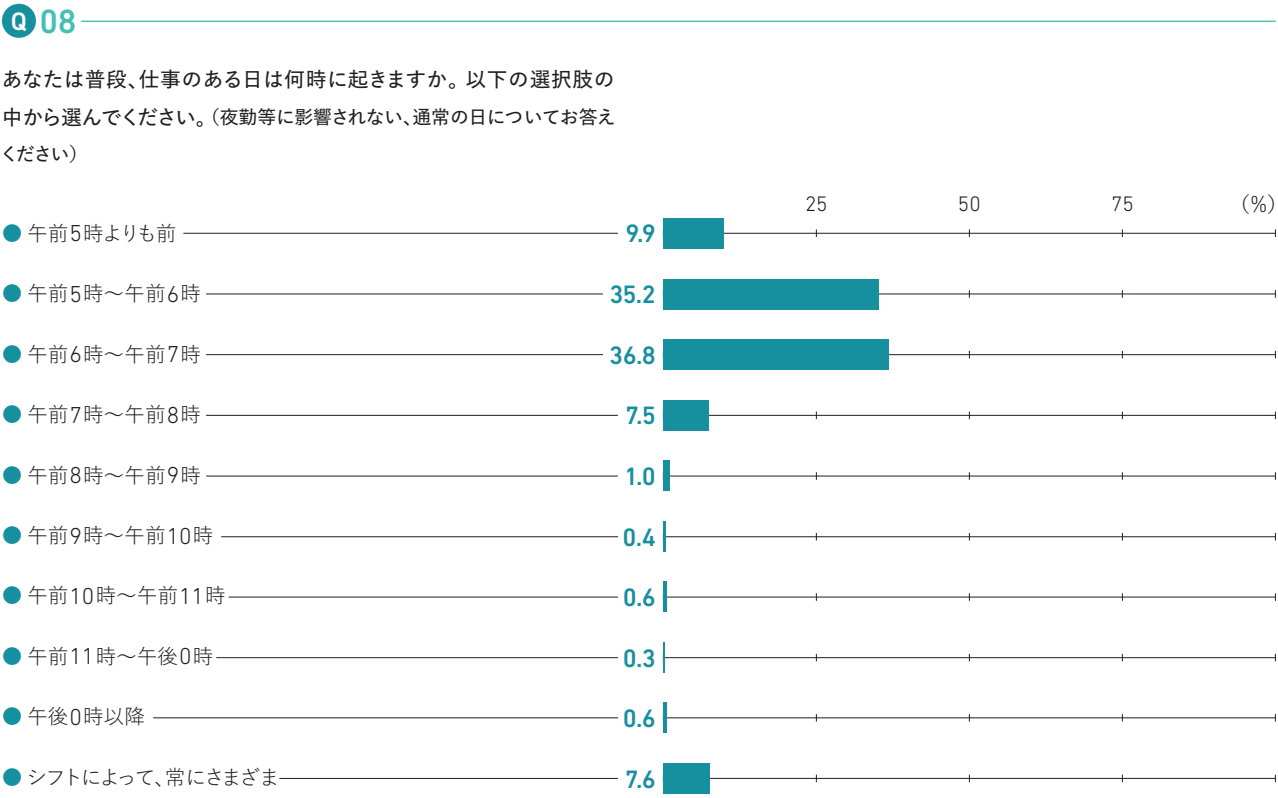
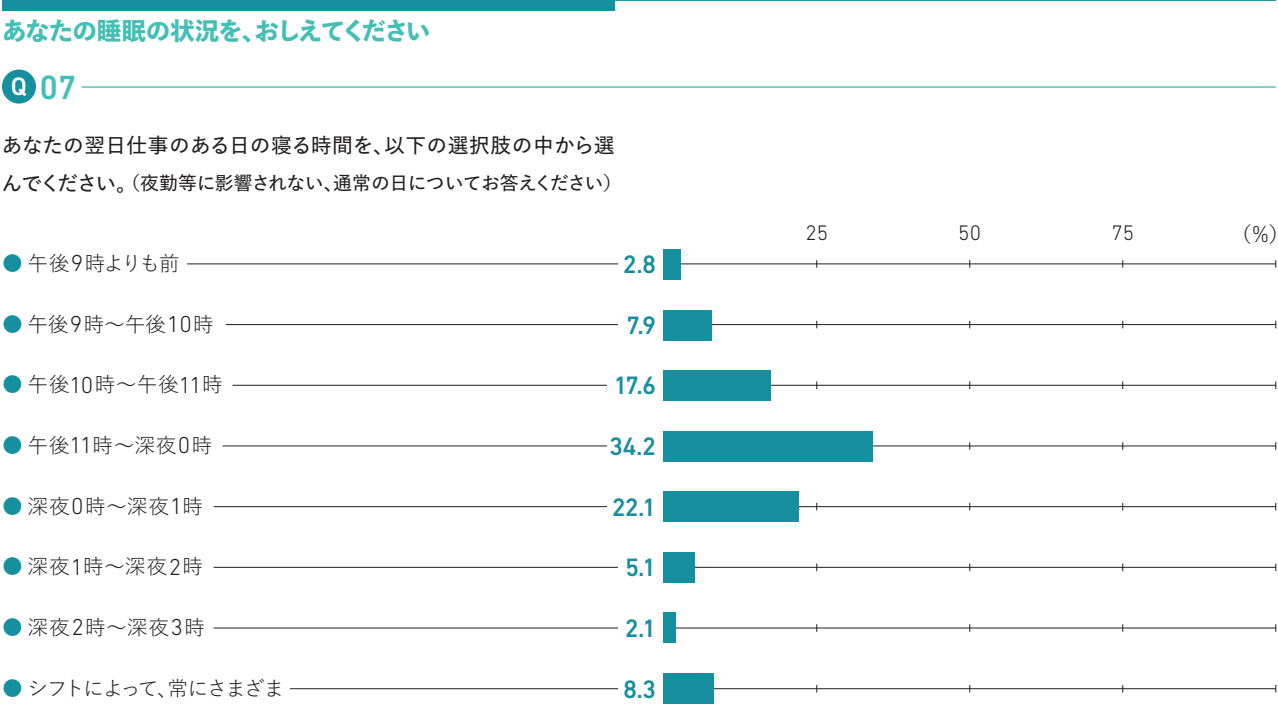
Q3で「はい」と答えた方にお聞きます。休日2日目の過ごし方について、Q4と同様にお答えください。(ほとんどしない活動は、「ほとんどしない」を選んでください)



Q 06

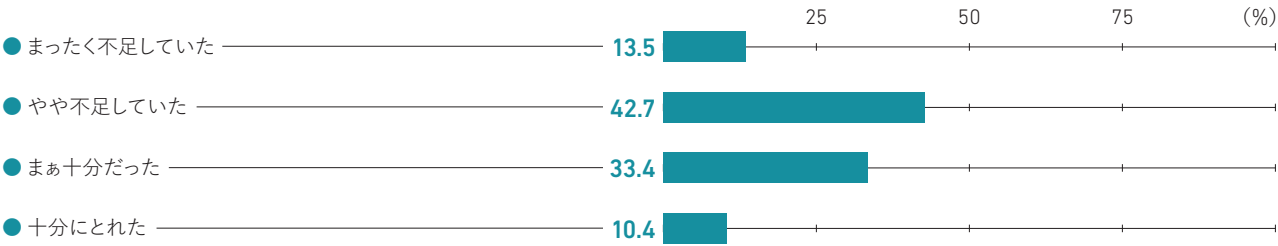
以下の質問文は、「1週間の仕事が終わったあとの時間の過ごし方」について尋ねたものです。それぞれについて、ご自身の状況にもっともあてはまる番号1つを選んでください。それぞれの質問が類似しているようにみえても、すべての項目にお答えください。





Q 12

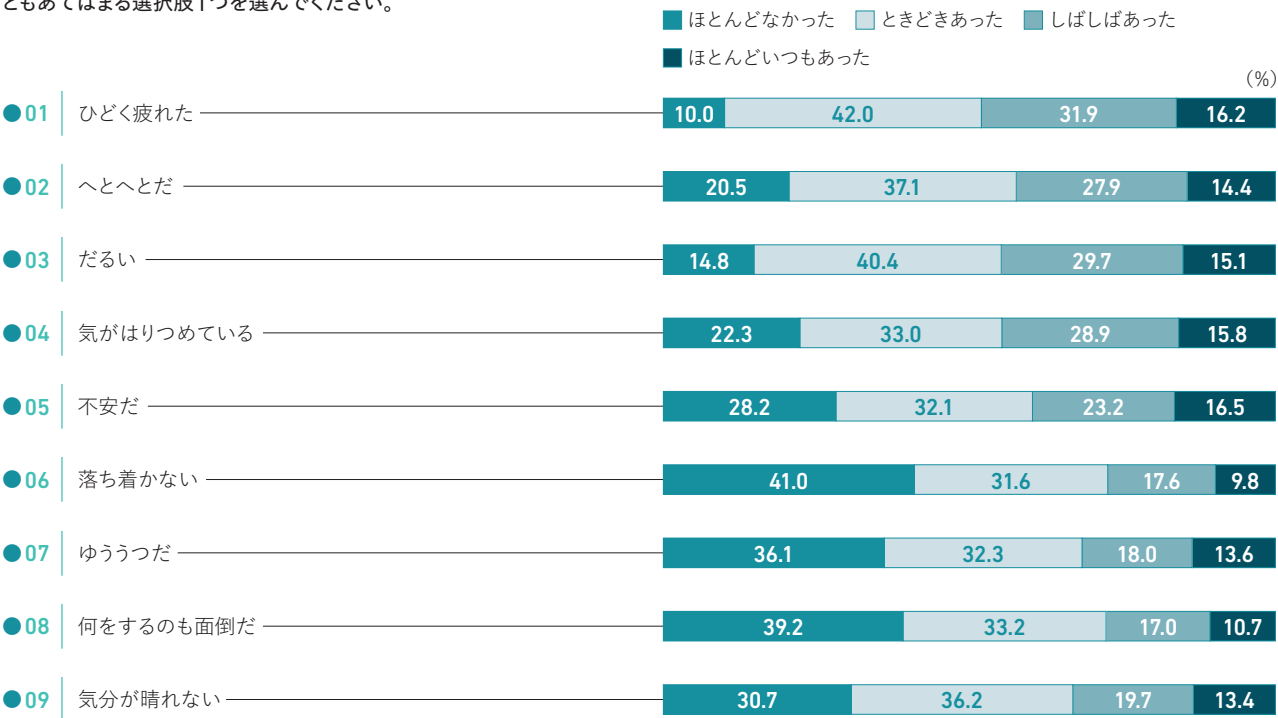
この1カ月間、睡眠によって休養が十分とれましたか。あてはまるもの1つを選んでください。



あなたの体調について、おしえてください

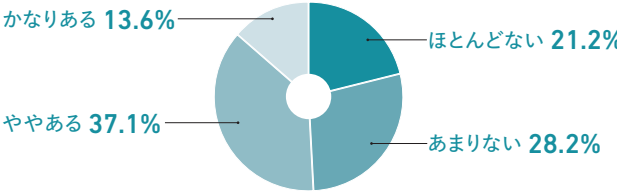
Q 13

最近1カ月のあなたの状態についてうかがいます。それぞれ、もっともあてはまる選択肢1つを選んでください。



Q 14

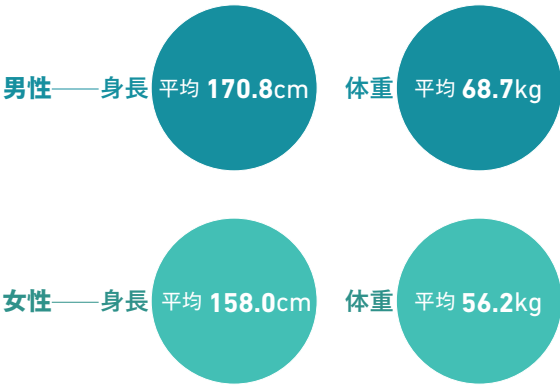
普段、肩こりや腰痛による日常業務への支障はありますか。もっともあてはまる選択肢1つを選んでください。



あなたの身長と体重について、おしえてください

Q 15

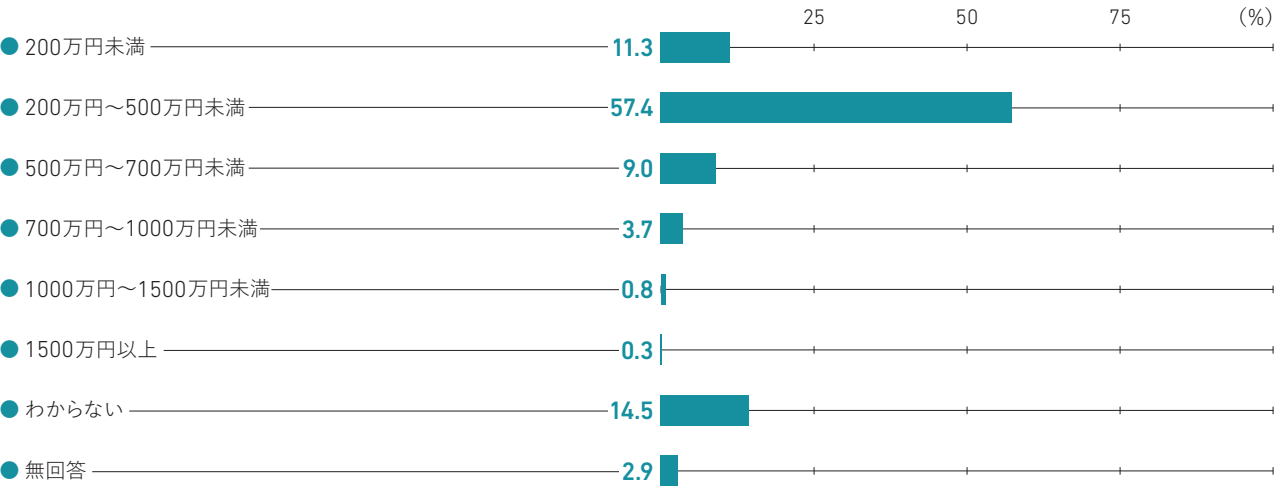
現在の身長と体重を入力してください。



あなたの所得や貯蓄の状況について、おしえてください

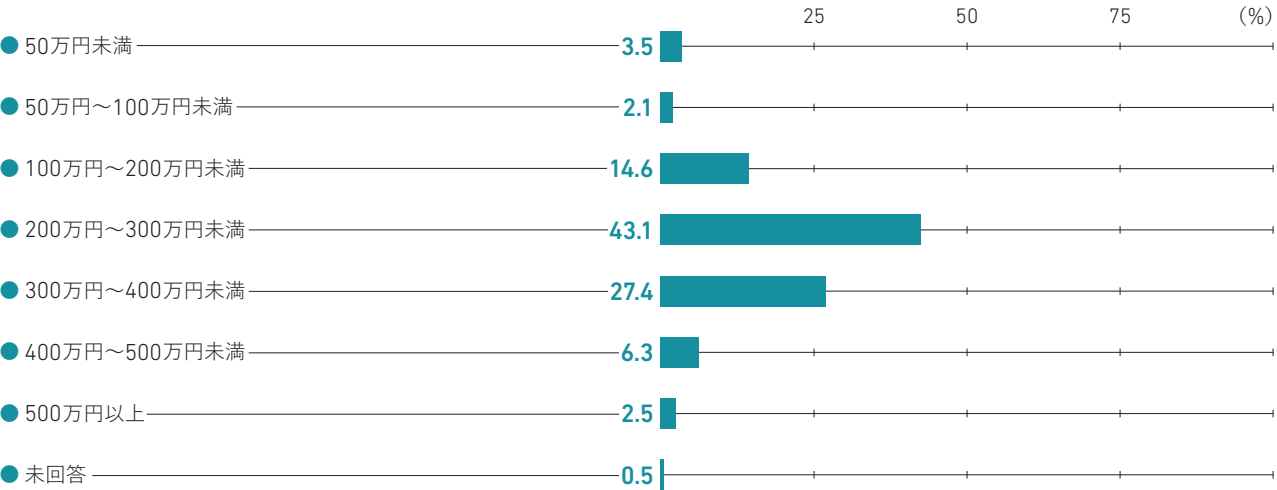
Q 16

あなたのご家庭の過去1年間の収入は、次のうち、およそどのくらいでしたか。ボーナスも含め、税込みのおおよその合計額をお答えください。



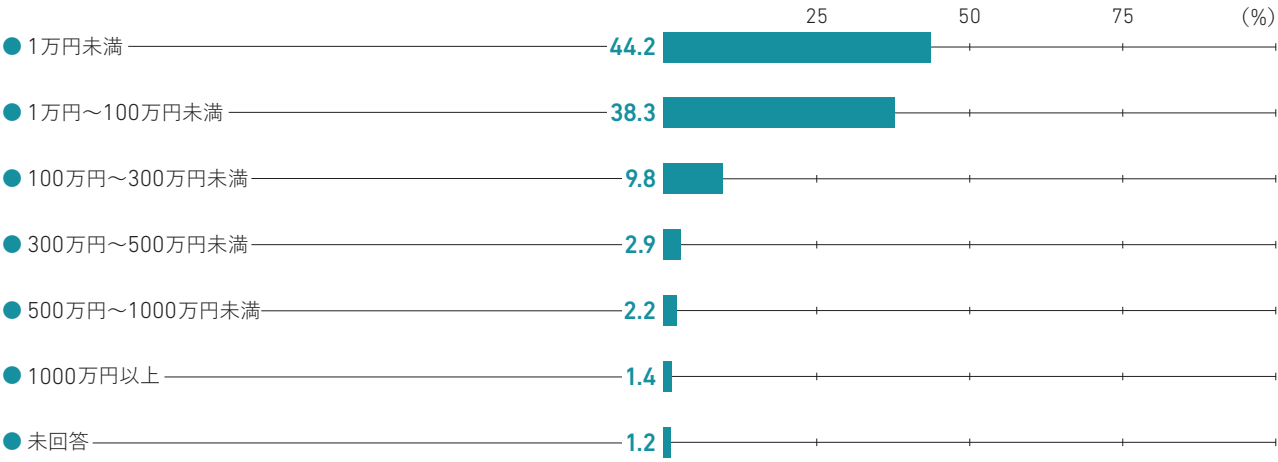
Q 17

あなたご自身の過去1年間の収入は、次のうち、およそどのくらいでしたか。ボーナスも含め、税込みの合計額をお答えください。



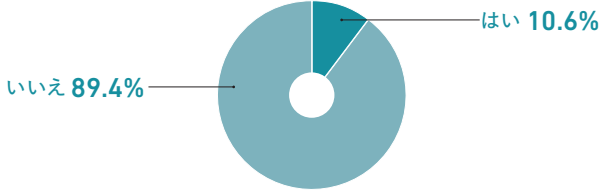
Q 18

あなたご自身で貯金されている金額は、およそ何万円くらいですか。



Q 19

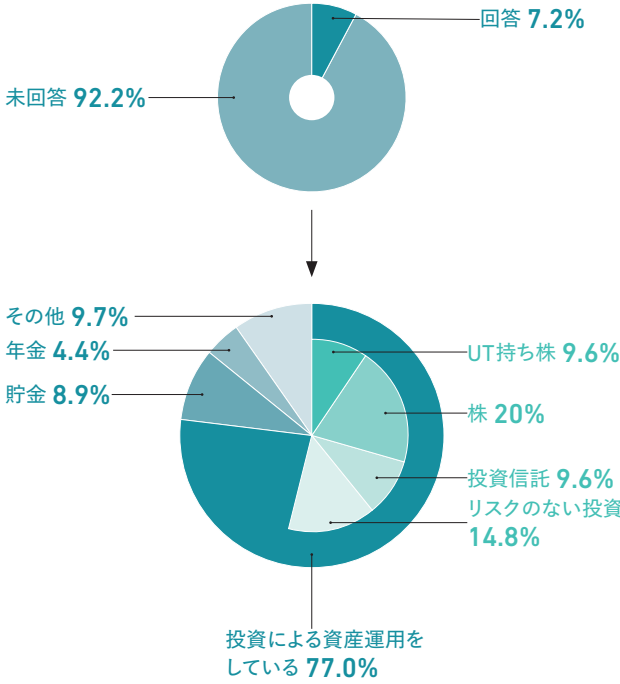
あなたは資産運用をされていますか。



Q 20

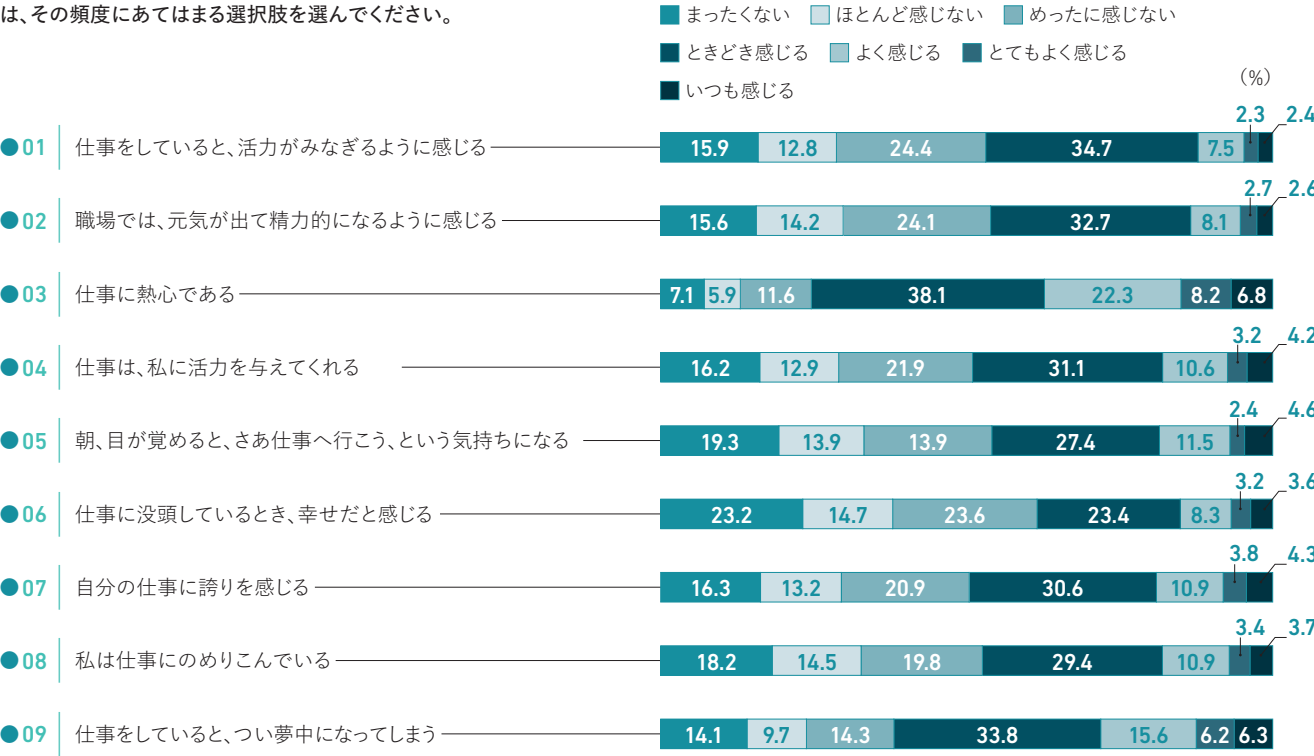
あなたの資産運用の考え方や方法について、自由にお答えください。

[回答者数：135名]



Q 21

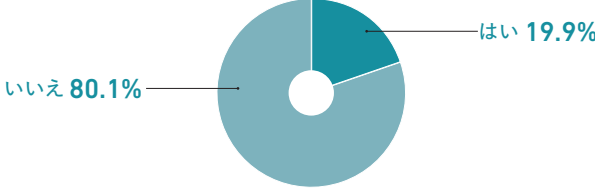
あなたは、仕事について以下のように感じますか。以下のように感じたことが一度もない場合は、「まったくない」を、感じたことがある場合は、その頻度にあてはまる選択肢を選んでください。



あなたの職場について、おしえてください

Q 22

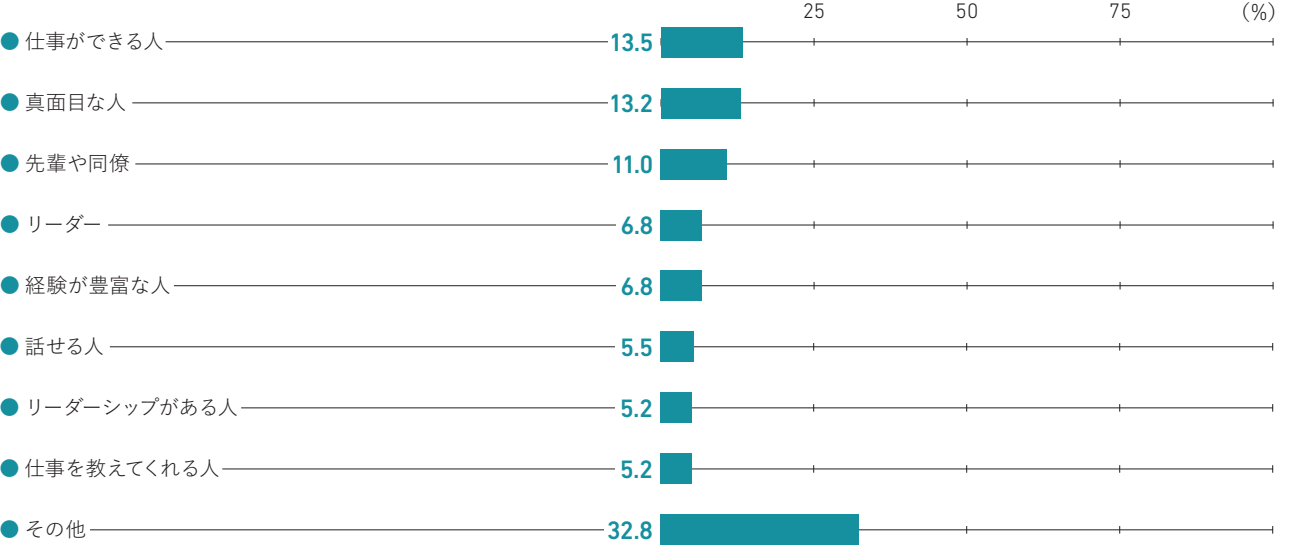
UTグループ(派遣元)に、ロールモデル(お手本)となるような人はいますか。



Q 23

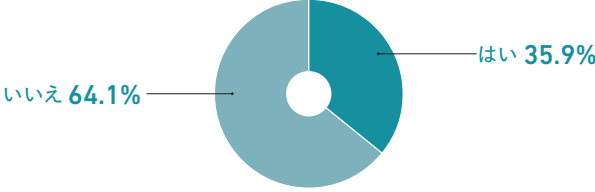
UTグループ(派遣元)のロールモデルは、どのような方ですか。

[回答者数：310名]



Q 24

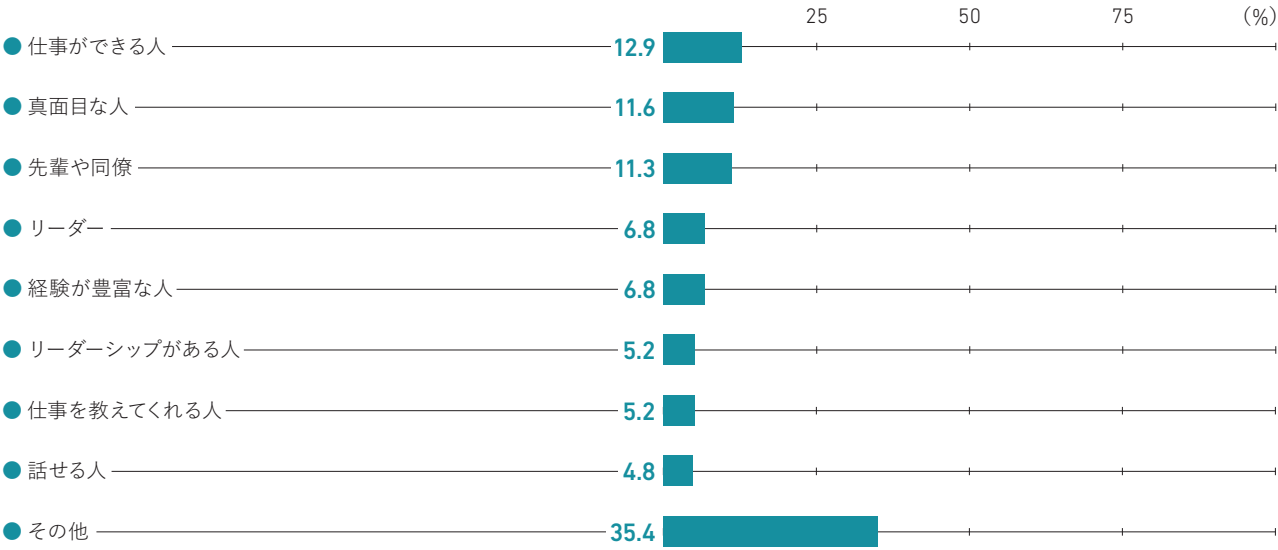
あなたの職場（派遣先）に、ロールモデル（お手本）となるような上司や先輩はいますか。



Q 25

あなたの職場（派遣先）のロールモデルは、どんな方ですか。

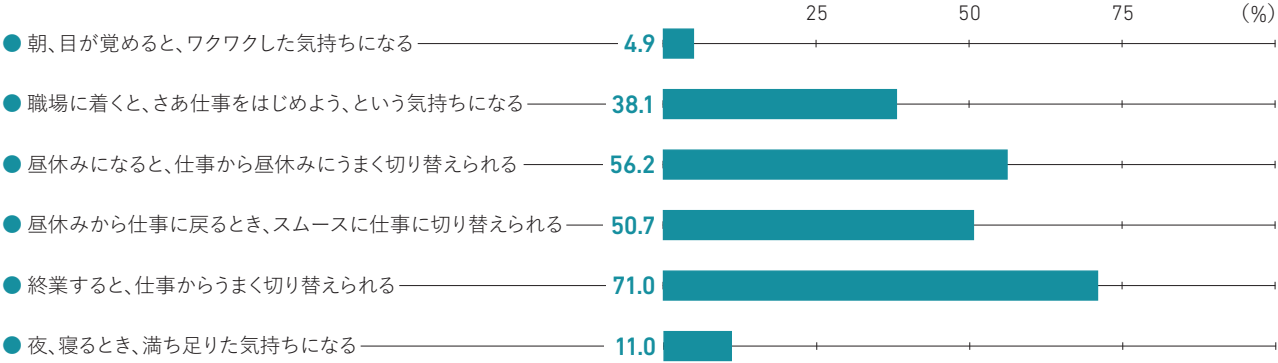
[回答者数：310名]



あなたの仕事と生活について、おしえてください

Q 26

最近1カ月間のあなたの状態について、うかがいます。あてはまる選択肢をすべて選んでください。



あなたの仕事について、おしえてください

Q 27

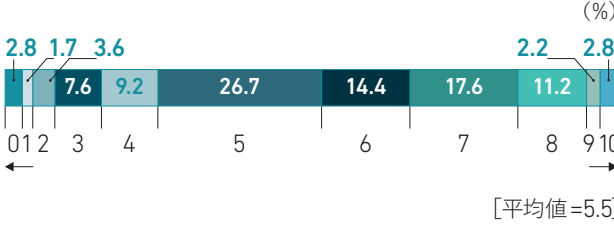
次の0点から10点までの数字は、仕事のパフォーマンスを表したものです。

0点 → （仕事ができない人ではなく、普通の人を基準とした）もっとも悪いときのパフォーマンス

10点 → もっとも仕事ができる人のパフォーマンス

あなたの主観的な考えでは、過去4週間（28日間）の、あなたの勤務日のあなたの普段のパフォーマンスは、何点くらいになるでしょうか。

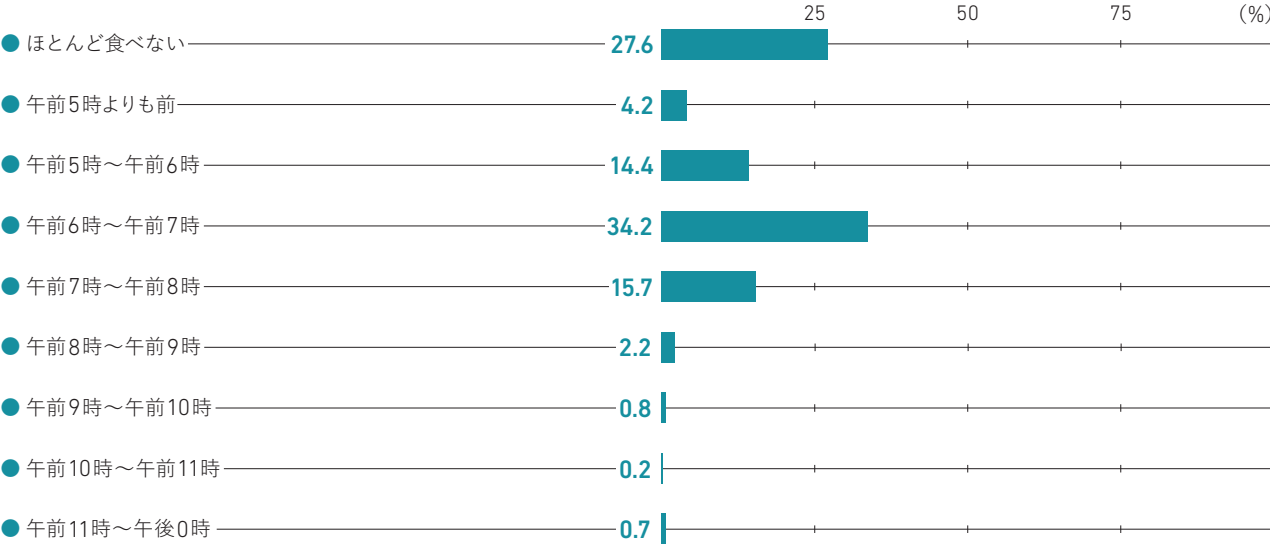
もっともあてはまる点数を選んでください。



あなたの食習慣について、おしえてください

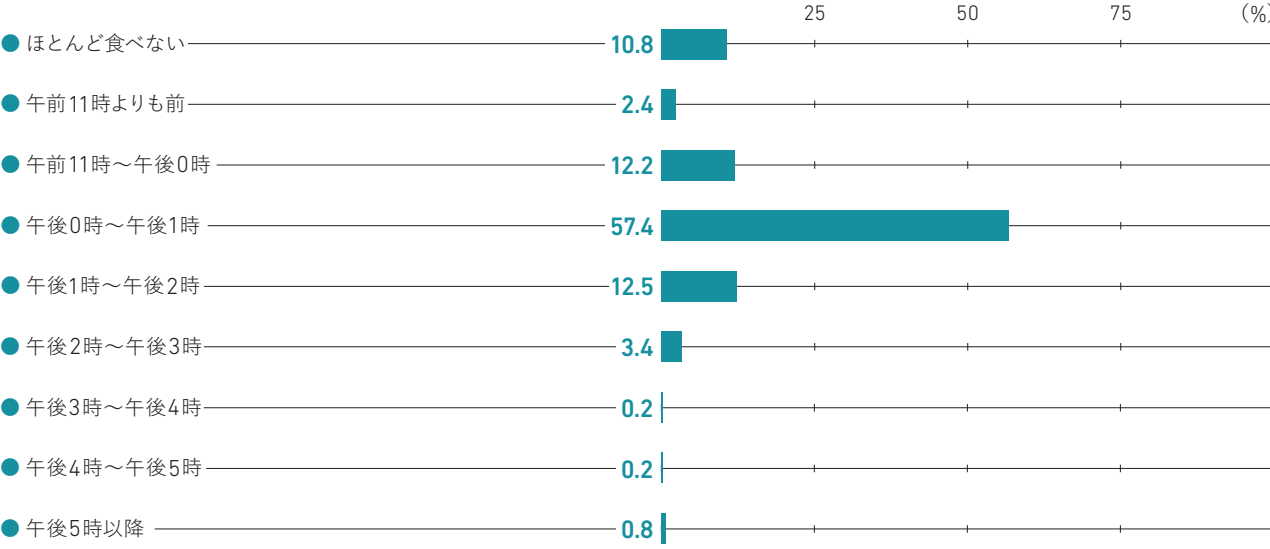
Q 28

あなたの平日の食事についてうかがいます。あなたは普段朝食を何時に食べますか。以下の選択肢の中から選んでください。



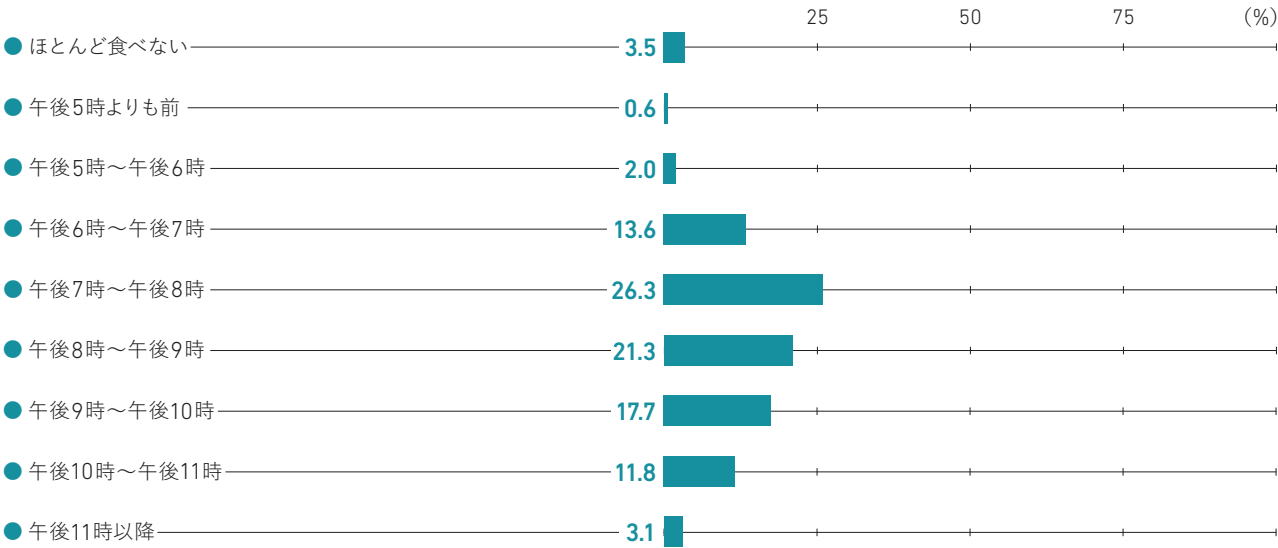
Q 29

あなたは普段昼食を何時に食べますか。以下の選択肢の中から選んでください。



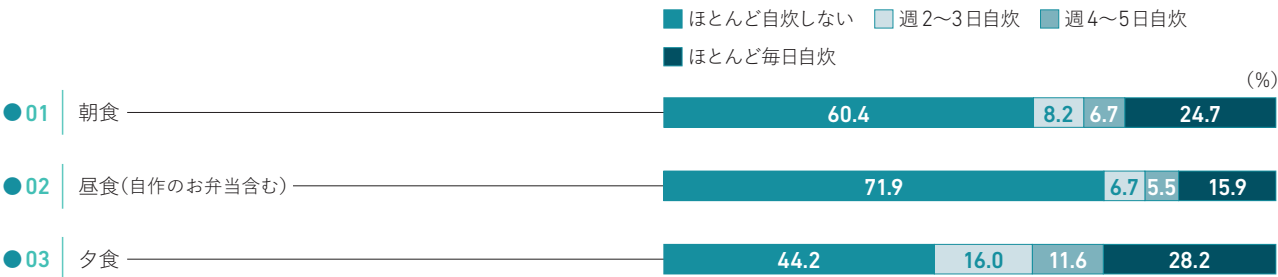
Q 30

あなたは普段夕食を何時に食べますか。以下の選択肢の中から選んでください。



Q 31

仕事のある日、以下の食事を自分でつくっていますか。（自炊や、お弁当の準備）

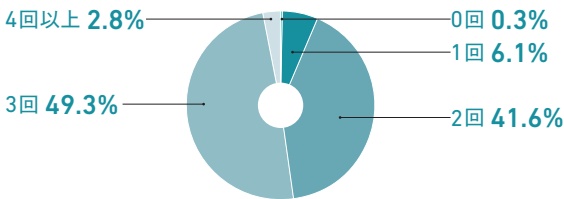


Q 32

休日の食習慣について、うかがいます。休日の食事の回数は？

* Q3で「はい」と答えた方は、休日1日目の食事の回数をお答えください。

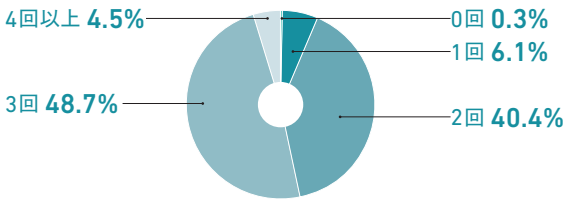
* Q3で「いいえ」と答えた方は、休日全般の食事の回数をお答えください。



Q 33

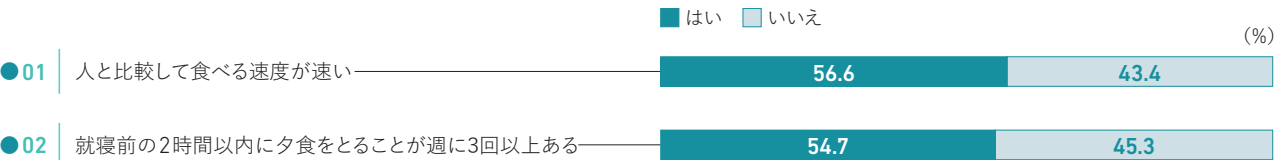
Q3で「はい」と答えた方にお聞きます。休日2日目の食習慣について、Q32と同様にお答えください。

[回答者数：1512名]



Q 34

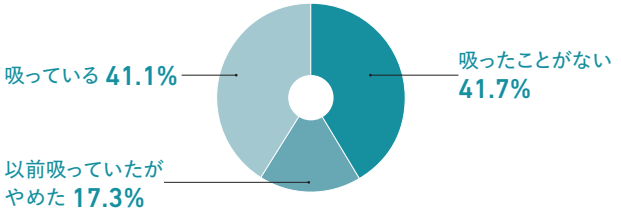
あなたの食習慣について、うかがいます。もっともあてはまる選択肢1つを選んでください。



あなたの生活習慣について、おしえてください

Q 35

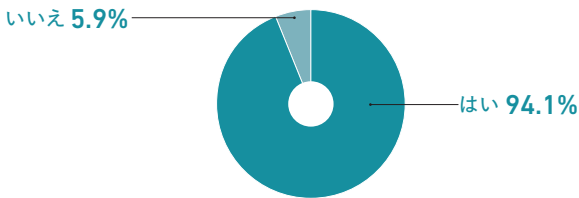
あなたは現在たばこを吸っていますか。



Q 36

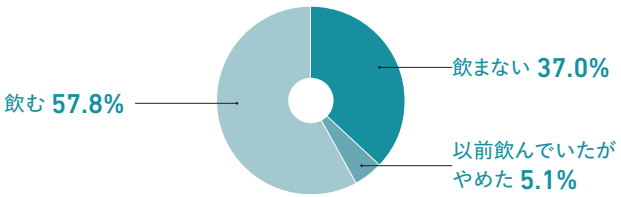
あなたは、生まれてからこれまでに、合計して少なくとも100本以上のたばこを吸っていますか。

[回答者数：1014名]



Q 37

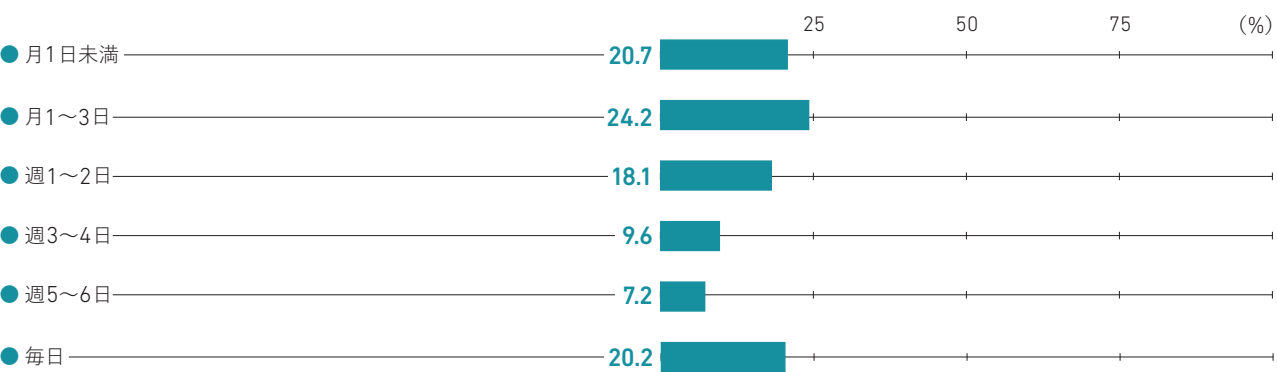
あなたは現在お酒を飲みますか。



Q 38

あなたはお酒をどのくらいの頻度で飲みますか。以下の選択肢の中から選んでください。

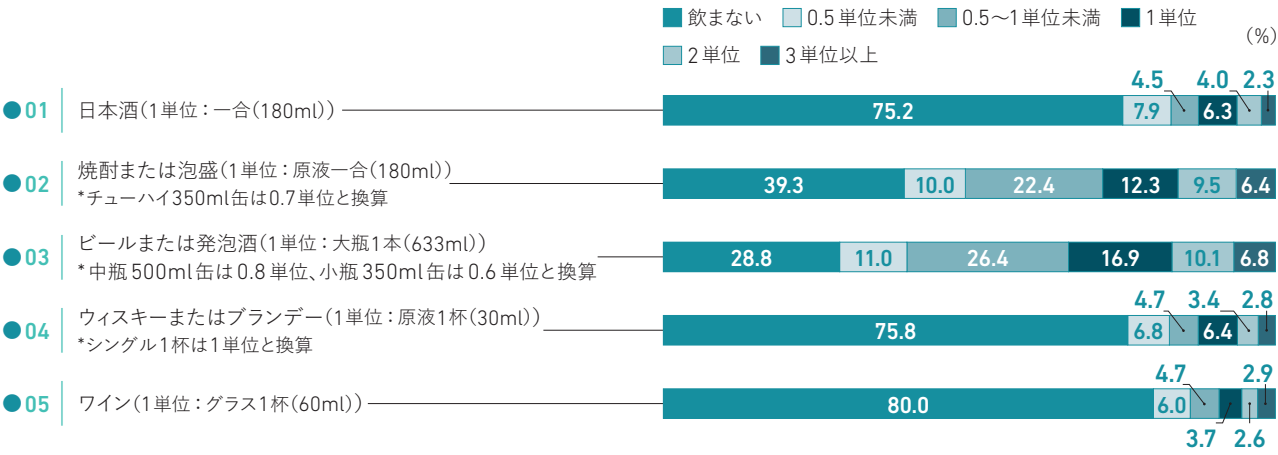
[回答者数：1095名]



Q 39

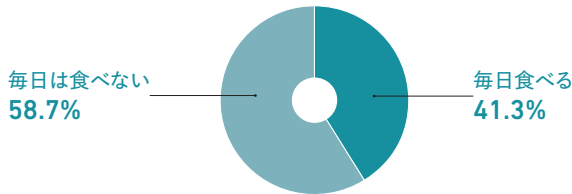
あなたが1日に飲む、もっとも一般的なお酒の組みあわせを選んでください。(飲まないお酒の種類では、「飲まない」を選んでください)

[回答者数：1095名]



Q 40

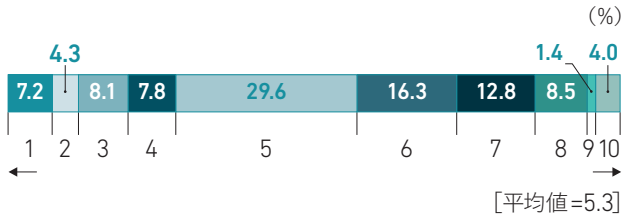
野菜や果物を食べる頻度を以下の選択肢から選んでください。



Q 41

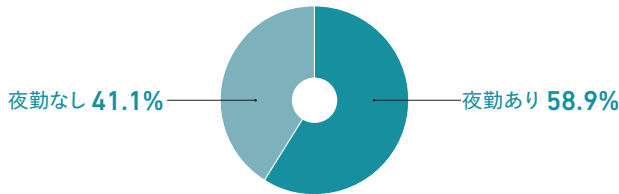
全体として、あなたの生活はどれくらい幸福ですか。あなたの状況に もっともあてはまると思う選択肢を選んでください。

- 1点 → まったく幸福でない
5点 → どちらでもない
10点 → 非常に幸福



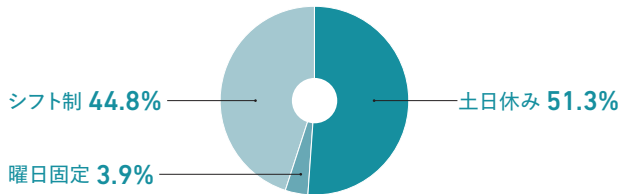
Q 42

現在、あなたの仕事に夜勤はありますか。



Q 43

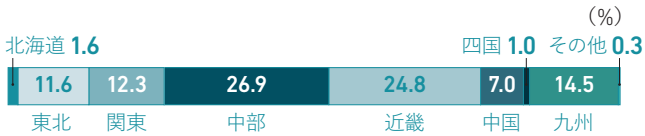
あなたの勤務・休日の形態をお答えください。



Q 44

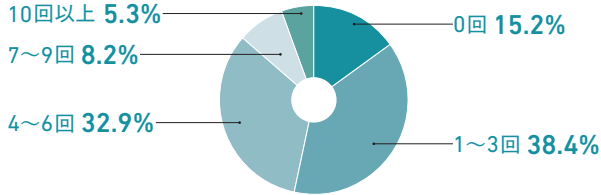
あなたの勤務地(実際の仕事先)をお答えください。

[回答者数：1444名]



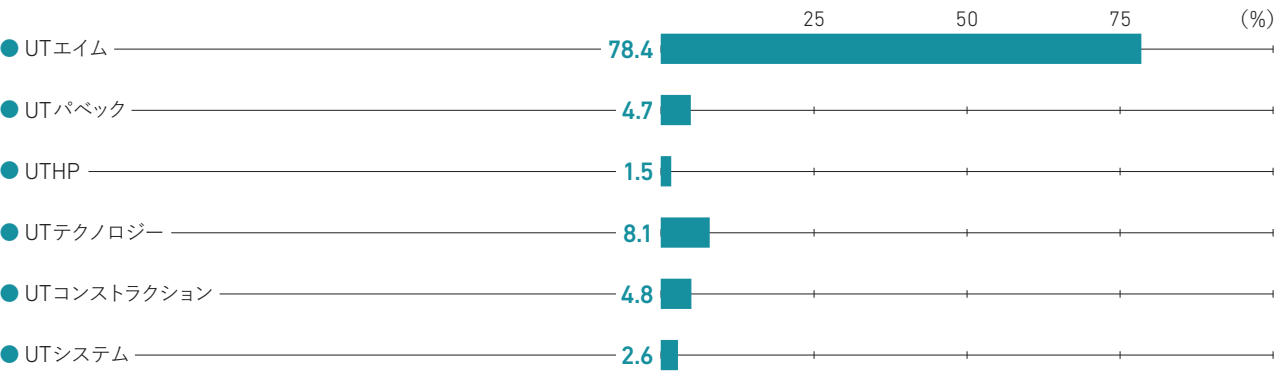
Q 45

あなたのこれまでの転職回数をお答えください。



Q 46

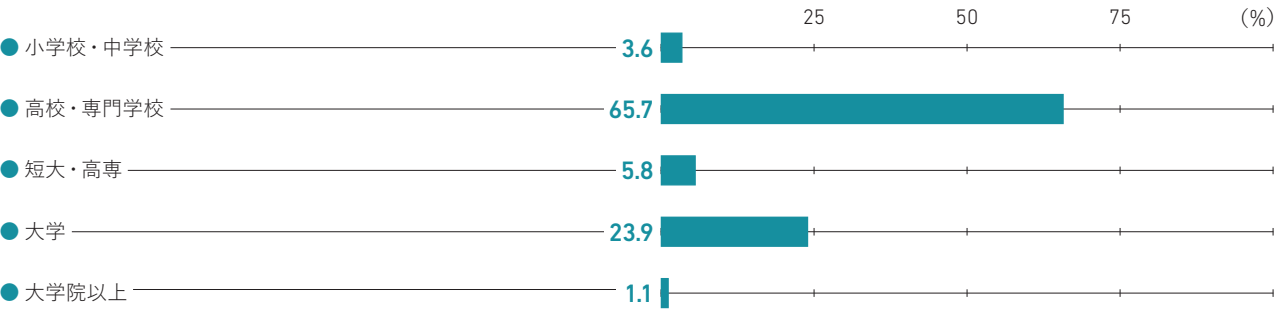
あなたの所属の会社をお答えください。



Q 47

あなたが最後に卒業された学校は、次のうちどれですか。

(中退、在学中は卒業としてお答えください)



Q 48

あなたのお住まいの地域をお答えください。

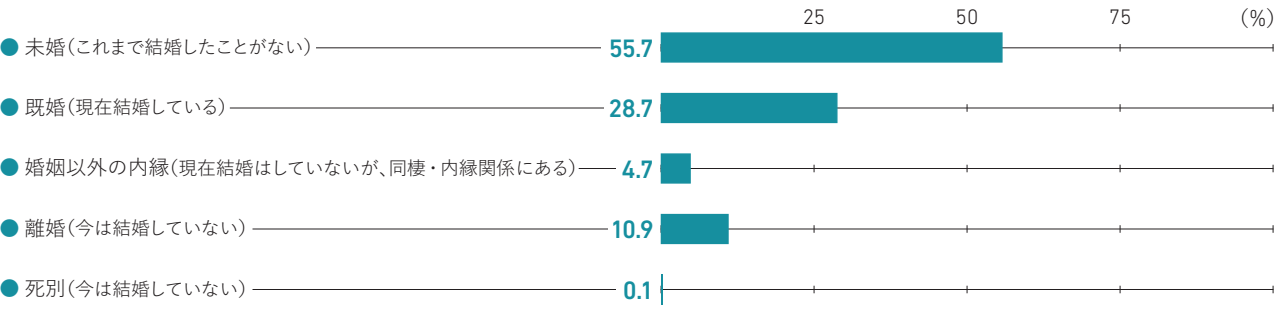
[回答者数：144名]



Q 49

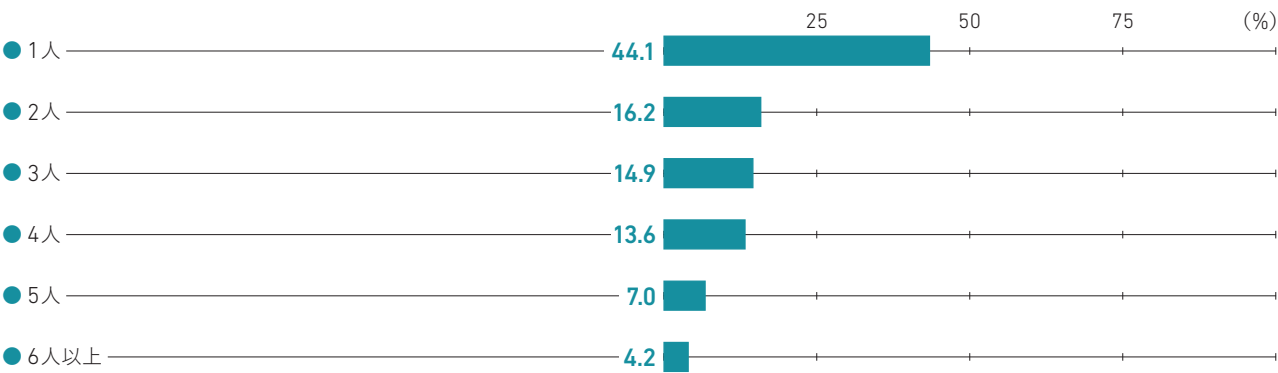
あなたの現在の婚姻状況についておうかがいします。あてはまるもの

1つを選んでください。



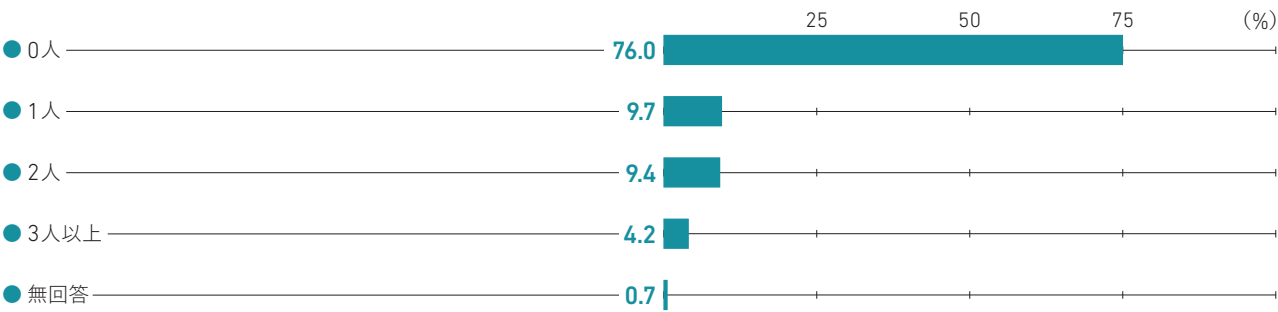
Q 50

現在、同居中のご家族は、あなたを含めて何人ですか。(数字でお答えください)



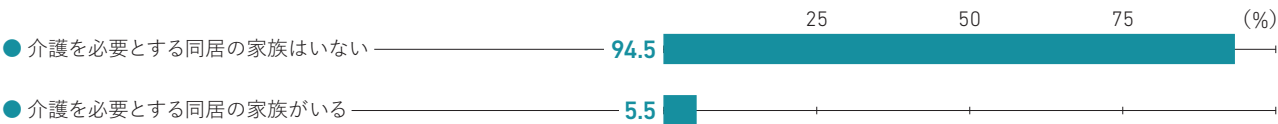
Q 51

現在、同居中のお子さんはいますか。人数を数字でお答えください。



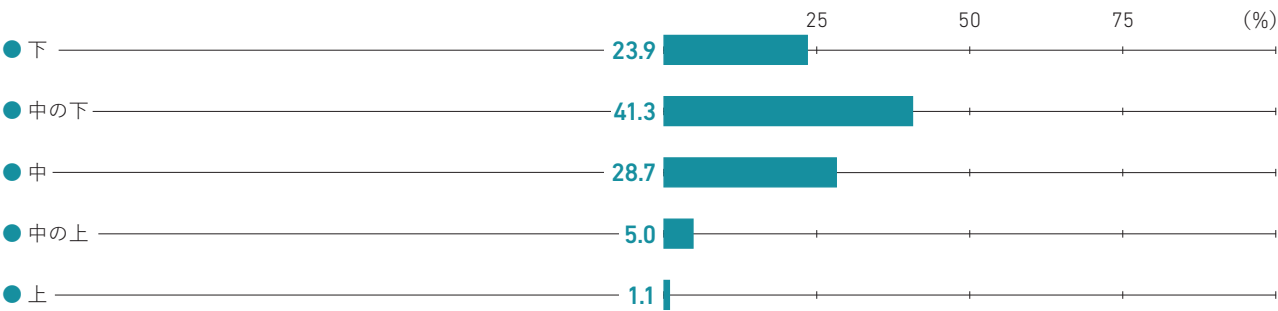
Q 52

同居しているご家族の中で、日常的に介護を必要とする方はいますか。



Q 53

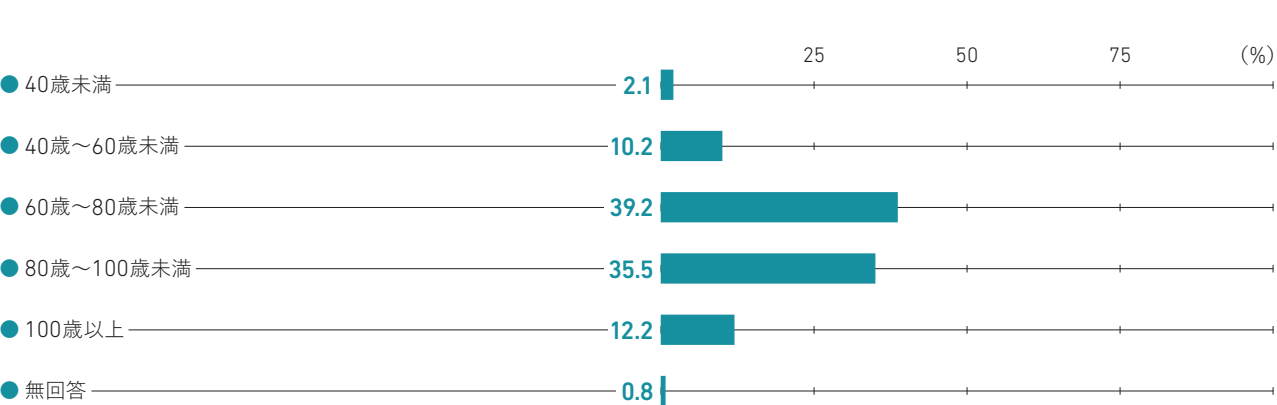
仮に現在の日本社会全体を、次のように5つの層に分けるとすれば、あなたのご家庭はどれに入ると考えられますか。以下の選択肢から1つを選んでください。



あなたの人生の長さについて、うかがいます

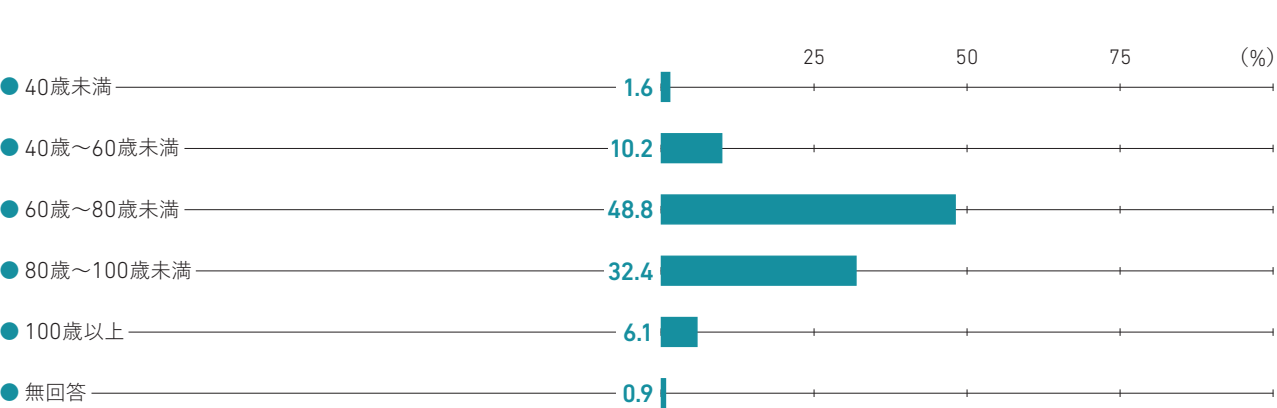
Q 54

あなたは、何歳まで生きたいと思いますか。(数字でお答えください)



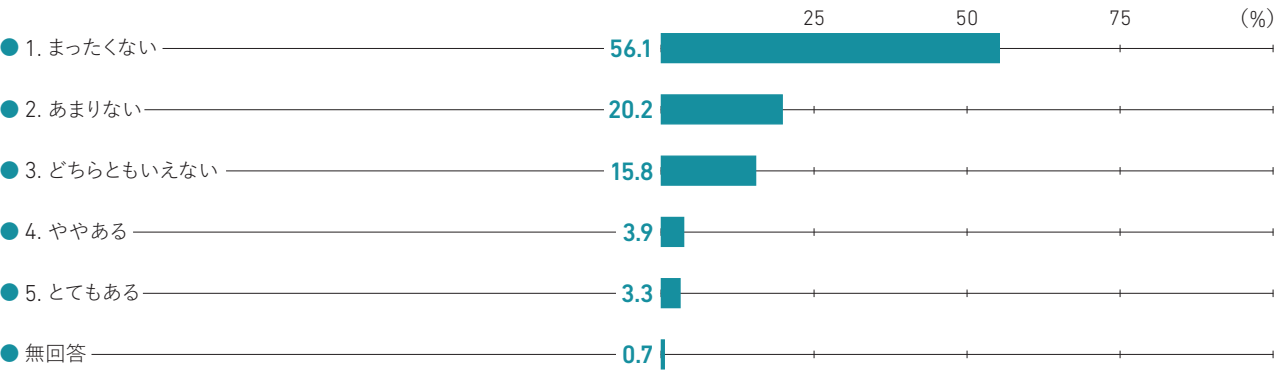
Q 55

あなたは、何歳まで生きると考えますか。(数字でお答えください)



Q 56

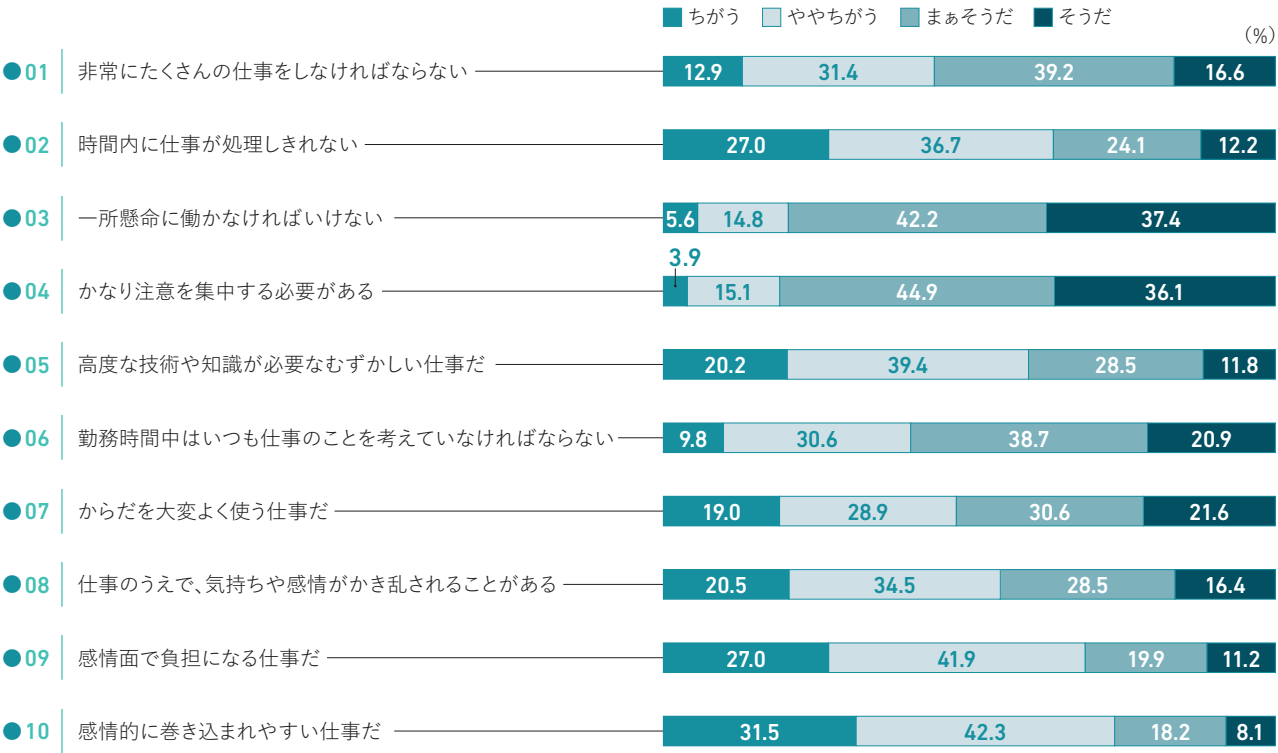
あなたは、100歳まで生きる自信がありますか。もっともあてはまるもの1つを選んでください。



あなたの仕事に関する状況を、おしえてください

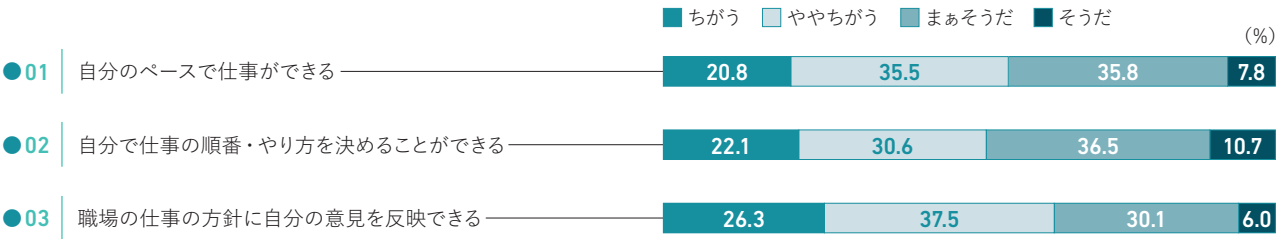
Q 57

あなたの仕事についてうかがいます。それぞれ、もっともあてはまるもの1つを選んでください。



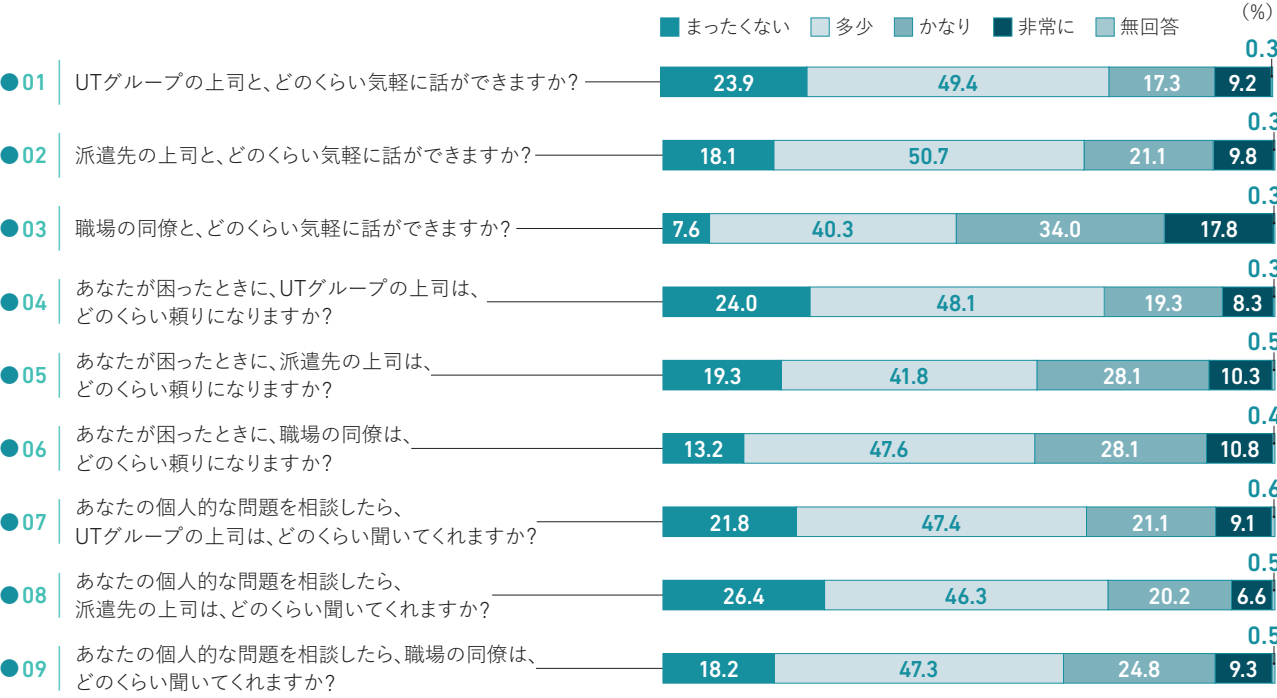
Q 58

あなたの仕事についてうかがいます。それぞれ、もっともあてはまるもの1つを選んでください。



Q 59

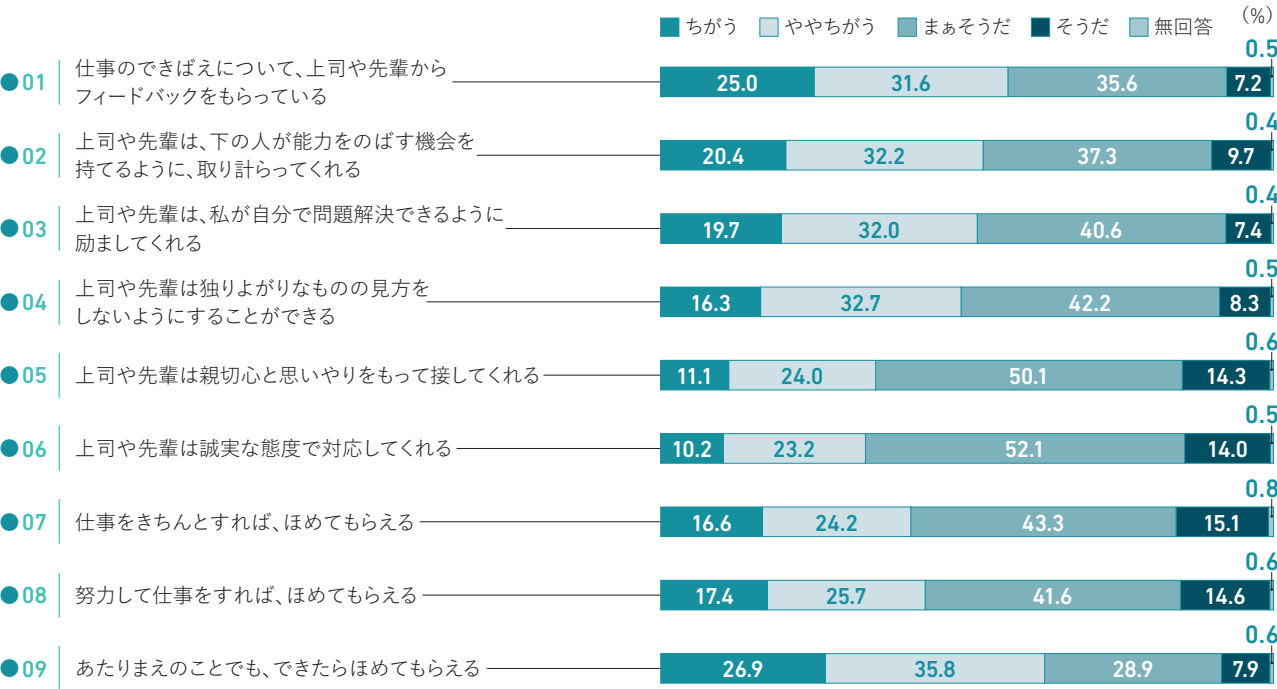
あなたの仕事についてうかがいます。まわりの方々についてどのように感じているか、お答えください。それぞれ、もっともあてはまるもの1つを選んでください。



あなたが働いている職場（派遣先）について、おしえてください

Q 60

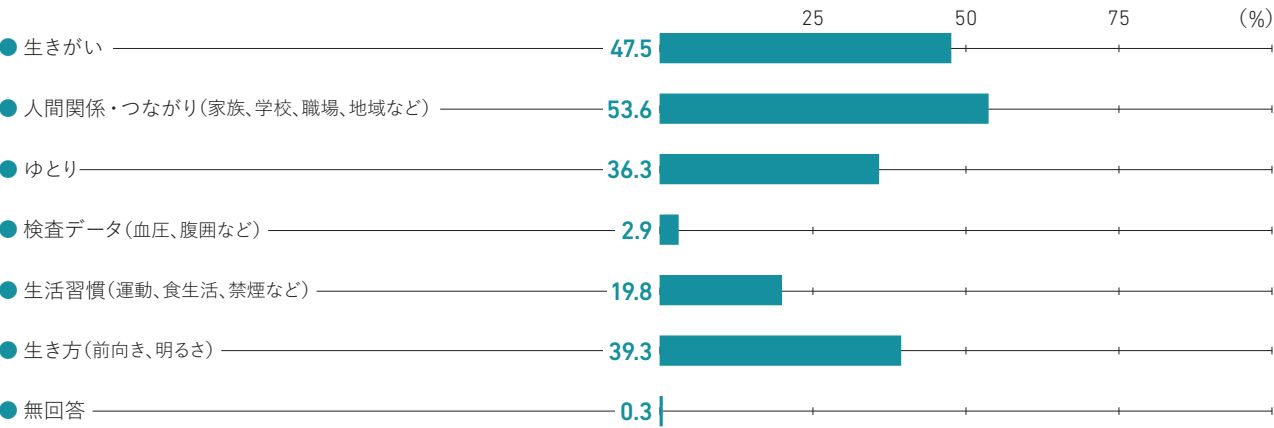
職場（派遣先）について、もっともあてはまるもの1つを選んでください。



あなたご自身について、おしえてください

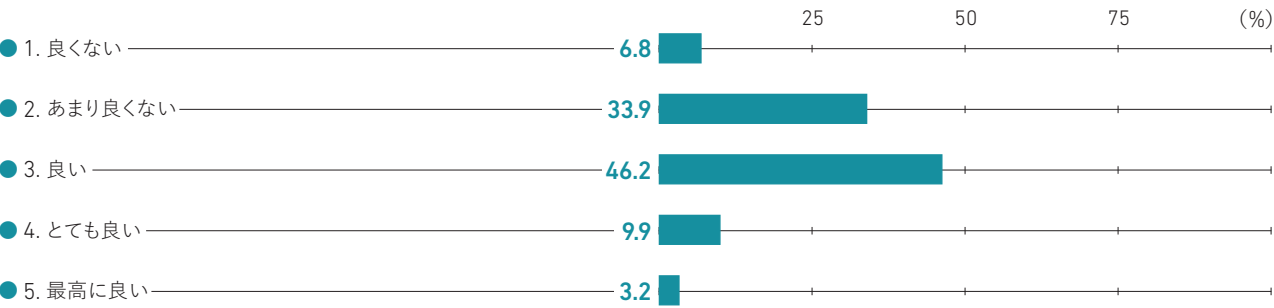
Q 61

あなたがこれから人生を過ごすうえで、優先順位が高いと思える要因を2つ、次の中から選んでください。（必ず2項目選んでください）



Q 62

あなたの健康について、もっともあてはまると思うものを選んでください。この1カ月間、あなたの健康状態はどうか。



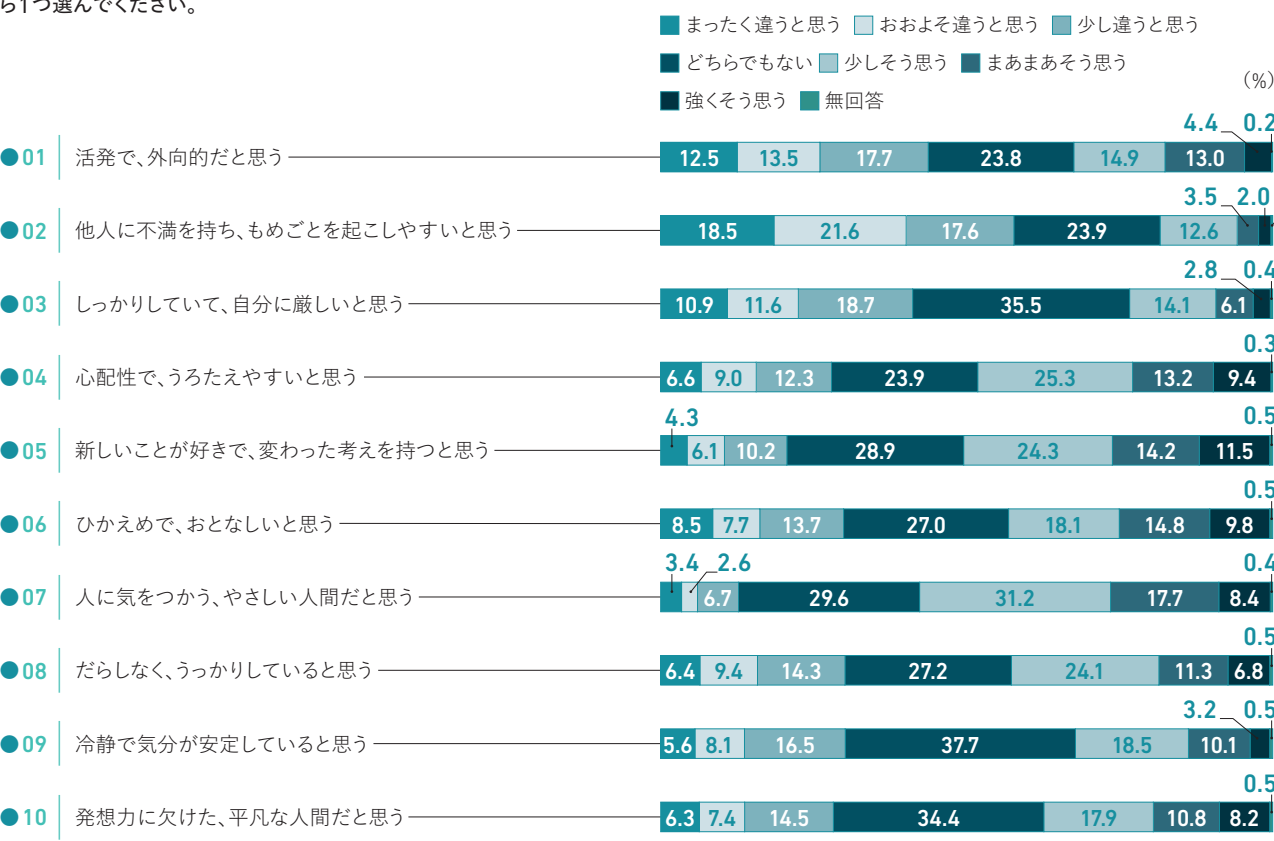
Q 63



あなたの考え方や行動について、おしえてください

Q 64

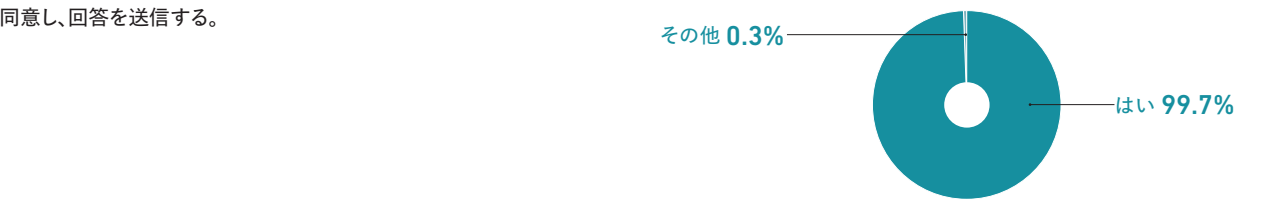
あなたの性格について、うかがいます。性格を表す以下のそれぞれのことばに対して、あなた自身はどの程度あてはまるかを選択肢の中から1つ選んでください。



Q 65

以上でアンケートは終了です。

Q 66



はたらく・くらす・いきる

モノづくりの現場での、派遣という働き方白書

[ライフスタイル実態調査報告]

発行人：若山 陽一

企画・発行：

UTグループ株式会社

〒141-0022

東京都品川区東五反田一丁目11番15号 電波ビル6階

TEL：03-5447-1711(代表)

株式会社 Campus for H

〒141-0031

東京都品川区西五反田二丁目8番1号 五反田ファーストビル5階

TEL：03-6327-1819

印刷所：藤原印刷株式会社

発行日：2018年8月1日